

令和 7 年度

公益財団法人いわき市教育文化事業団決算書

(抜粋)

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日

公益財団法人いわき市教育文化事業団

目 次

	ページ
・ 事業報告書	3
・ 決算報告書	51

事 業 報 告 書

目 次

	ページ
I 概 況	
1 総 括 事 項	5
II 業 務	
1 文化財部門（公1 埋蔵文化財の発掘調査事業）	
(1) 発掘調査事業	6
(2) 啓蒙普及事業	7
2 施設部門（公2 教育文化施設の管理運営事業）	
(1) いわき市立草野心平記念文学館及び草野心平生家	9
(2) いわき市暮らしの伝承郷	14
(3) いわき市勿来関文学歴史館	20
(4) いわき市アンモナイトセンター	25
(5) いわき市考古資料館	28
(6) 福島県いわき海浜自然の家	33
(7) いわき市生涯学習プラザ	36
3 管 理 部 門（法人会計）	45
III 評議員会・理事会に関する事項	
1 評 議 員 会	49
2 理 事 会	49
3 監 査	49
4 役員等に関する事項	49
IV 職員に関する事項	
1 事 務 局	50
2 施 設	50

I 概 況

1 総括事項

令和7年度は、当財団の設立から48年目、公益法人に移行後12年目にあたる。物価の上昇や国際情勢の変化等により社会状況が大きく変化する中、当財団の有する役割を認識し、職員が専門性を十分に活かす事業を企画実施するとともに、適切な事業運営を進め、市・県民の心の支えとなるような教育文化の振興に寄与した。

理事会は7回、評議員会は3回開催し、財務に関しては収支相償に留意しながら、公正・公平で透明性のある組織運営に努めた。

文化財部門は、JRいわき駅周辺の開発事業に伴う平城跡内での発掘調査・報告書刊行が一段落した結果、発掘調査は、一般国道6号勿来バイパス関連の北作B遺跡1件に留まった。調査報告書は2冊刊行した。事業量は9件、収入額は約1億1,271万円となり、前年度比で2件、約1億3,801万円の減となった。

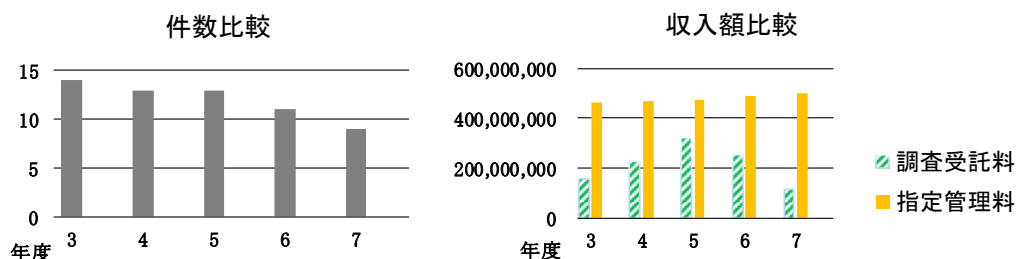
施設部門は、魅力ある企画展や体験学習・講座等を展開し、全施設の年間利用者は前年度比3%増の170,684人となった。

法人運営としては、施設長会議や事務担当者会議、安全衛生委員会等の諸会議を適宜開催し、諸課題への対応や情報の共有を図り、適切で安全な施設の運営にあたった。

今年度の収入は全体で約6億3,082万円となり、効率的かつ効果的な事業運営及び経費の節減、収支相償の解消に努めた結果、約1,064万円の赤字決算となった。

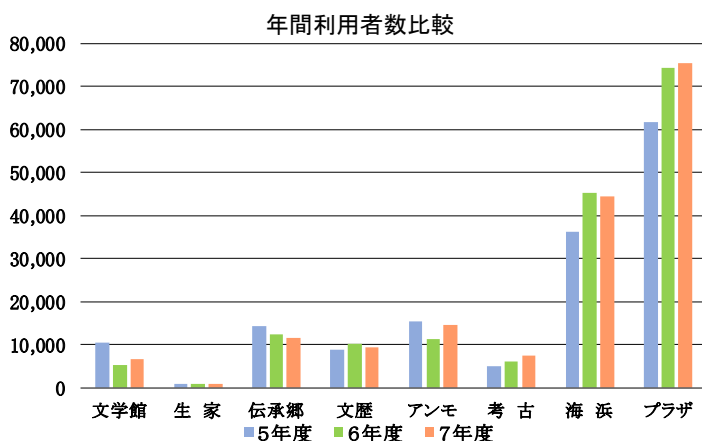
○ 発掘調査事業契約件数と主な収入額の年度別比較（令和3年度～令和7年度）

年度	3	4	5	6	7
契約件数 (単位：件)	14	13	13	11	9
調査受託料収入額 (単位：円)	155,347,500	226,794,700	320,111,000	250,732,900	112,717,000
指定管理料収入額 (単位：円)	463,719,000	471,314,186	473,754,987	491,993,005	500,424,821



○ 施設年間利用者数比較（令和5年度～令和7年度）

	文学館	生家	伝承郷	文歴	アンモ	考古	海浜	プラザ	合計
5年度	10,510	997	14,263	8,941	15,510	5,022	36,402	61,892	153,537
6年度	5,270	867	12,361	10,330	11,216	6,008	45,258	74,403	165,713
7年度	6,687	979	11,683	9,318	14,519	7,394	44,525	75,579	170,684



Ⅱ 業 務

1 文 化 財 部 門 (公 1 埋 蔵 文 化 財 の 発 掘 調 査 事 業)

発掘調査業務3件、整理等作業4件、報告書作成・刊行業務2件、計9件の事業を受託した。発掘調査業務は、市内遺跡発掘調査、勿来バイパス関連の北作B遺跡、富岡町の小浜代遺跡の3件で、市内遺跡発掘調査では、12遺跡、13件の開発事業に先立つ試掘・確認調査及び分布調査を実施した。

整理等作業は、湯長谷館跡、餓鬼堂横穴群、平城跡(第26・34・37次調査)、砂畑遺跡、梅ノ作瓦窯跡群の5遺跡について実施した。うち平城跡(第26・34・37次調査)と砂畑遺跡の2遺跡は、報告書を刊行した。

また、新規事業として、収蔵資料等整理業務を受託し、民俗資料等の整理を行った。

(1) 発掘調査事業 遺跡位置図は別掲のとおり

ア 試掘・確認調査、発掘調査

(ア) 市内遺跡発掘調査業務委託	
委 託 者	いわき市教育委員会(文化振興課)
遺 跡 名	市内一円
受託期間	令和7年4月9日～同8年3月20日
契 約 額	9,993,500円
実施遺跡	平城跡第44次(平字旧城跡 公園整備 ②)、谷地川遺跡(泉町下川 集合住宅建築 ③)、平城跡第45次(平字旧城跡 防護柵設置 ④)、坂ノ上遺跡(勿来町大高 無線基地局建設 ⑤)、関根遺跡(勿来町酒井 施設建設 ⑥)、田代原A遺跡(好間町上好間 太陽光発電施設建設 ⑦)、下神白館跡(小名浜下神白 崩壊防止施設建設 ⑧)、上神谷条里跡(平上神谷 校舎増築 ⑨)、三坂城跡(三和町上三坂 道路改良工事 ⑩)、大野条里跡(四倉町薬王寺 ほ場整備 ⑪)、木船遺跡(鹿島町久保 集合住宅建築 ⑫)、花ノ井B遺跡(錦町花ノ井 集合住宅建築 ⑬)、道下遺跡(泉玉露 集合住宅建築 ⑭)
成 果	12遺跡、13地点で試掘・確認調査及び分布調査を実施した。坂ノ上遺跡⑤では、弥生時代の溝跡やピット、古代の竪穴建物跡が検出され、弥生後期の土器が多く出土している。三坂城跡⑩では、踏査により曲輪・堀切・横堀が確認され、新発見の館跡とみられる。上神谷条里跡⑨では、3枚の水田耕作面が確認された。木船遺跡⑫では、溝跡やピットが検出され、花ノ井B遺跡⑬では、竪穴状遺構が検出されたほか、土師器を多く含む遺物包含層が検出された。大野条里跡⑪では、縄文晩期の竪穴建物跡や古墳～平安時代の遺物集中地点のほか、複数面の水田耕作層や溝跡などが検出された。
(イ) 勿来バイパス事業埋蔵文化財発掘調査 [北作B遺跡 (A、C地区)]	
委 託 者	国土交通省東北地方整備局磐城国道事務所
遺 跡 名	北作B遺跡(勿来町関田北作他 ①)
受託期間	令和7年4月1日～同8年3月31日
調査期間	令和7年6月10日～同8年1月16日
調査面積	2,478.0㎡
契 約 額	42,086,000円 [当初 43,303,700円]
成 果	弥生時代の土器棺墓、古代の焼成土坑数基、時期不明の土塁状遺構が検出された。土塁状遺構は丘陵尾根部全体に構築されていると推定される。
(ウ) 令和7年度小浜代遺跡発掘調査業務	
委 託 者	富岡町
遺 跡 名	小浜代遺跡(富岡町小浜)
受託期間	令和7年11月14日～同8年3月31日
調査期間	令和8年1月13日～同3月20日
調査面積	240.00㎡
契 約 額	4,890,600円
成 果	寺院跡の東辺を区画する溝跡が検出された。2月21日には現地説明会を実施した。

イ 整理等作業、報告書作成・刊行

(7) 埋蔵文化財発掘出土品整理業務委託	
委託者	いわき市教育委員会（文化振興課）
遺跡名	湯長谷館跡（常磐下湯長谷町古館 ⑮）
受託期間	令和7年5月12日～同8年3月27日
契約額	3,999,600円
成果	遺物の実測・トレース、遺構図のトレース、写真撮影などの整理等作業及び原稿執筆などの報告書作成作業を実施した。
(イ) 餓鬼堂地区埋蔵文化財調査委託	
委託者	いわき市（農林土木課）
遺跡名	餓鬼堂横穴群（平薄磯字北ノ作 位置図⑯）
受託期間	令和7年6月20日～同11月25日
契約額	3,499,100円
成果	整理等作業の遺構図トレース、遺物実測・トレース及び挿図版組、原稿作成などの報告書作成作業を実施した。
(ウ) 都市計画道路搔槌小路幕ノ内線（柳町工区）埋蔵文化財（平城跡）発掘調査業務委託	
委託者	いわき市（建設事業課）
遺跡名	平城跡第34・37次（平字柳町 ⑰）
受託期間	令和7年6月26日～同8年3月19日
契約額	22,553,300円
成果	整理等作業及び報告書作成作業を実施し、報告書を刊行した（いわき市埋蔵文化財調査報告第207冊）。
(エ) 新屋敷・南作線埋蔵文化財（砂畑遺跡）発掘調査業務委託	
委託者	いわき市（建設事業課）
遺跡名	砂畑遺跡（平菅波字新屋敷 ⑱）
受託期間	令和7年6月26日～同8年3月19日
契約額	16,079,800円
成果	整理等作業及び報告書作成作業を実施し、報告書を刊行した（いわき市埋蔵文化財調査報告第208冊）。
(オ) 梅ノ作瓦窯跡群範囲確認調査業務委託	
委託者	いわき市教育委員会（文化振興課）
遺跡名	梅ノ作瓦窯跡群（小川町下小川字梅ノ作 ⑲）
受託期間	令和7年7月23日～同8年3月20日
契約額	8,419,400円
成果	須恵器や窯跡に関する指導会を開催し、遺構・遺物について再検討をした。遺構図・遺物図の修正、写真撮影、原稿作成、一部編集作業を実施した。
(カ) 収蔵資料等整理業務	
委託者	いわき市教育委員会（文化振興課）
受託期間	令和8年1月15日～同3月31日
契約額	1,195,700円
成果	斑堂収蔵庫及びいわき市暮らしの伝承郷保管の民俗資料等を整理した。

(2) 啓蒙普及事業

いわき市考古資料館 第1回企画展「令和6年度発掘速報展」	
4月19日(土)～6月29日(日)	
考古資料館と共催で開催した。展示解説資料として、『いわき発掘ニュース』第86号を発行した。また、5月12日開催の「遺跡報告会」及び「展示解説会」では、調査担当職員が報告及び解説した。詳細は2-(5)-イ-(7)のとおり。	

○ 埋蔵文化財発掘調査 遺跡位置図 (②～⑭は試掘・確認調査)

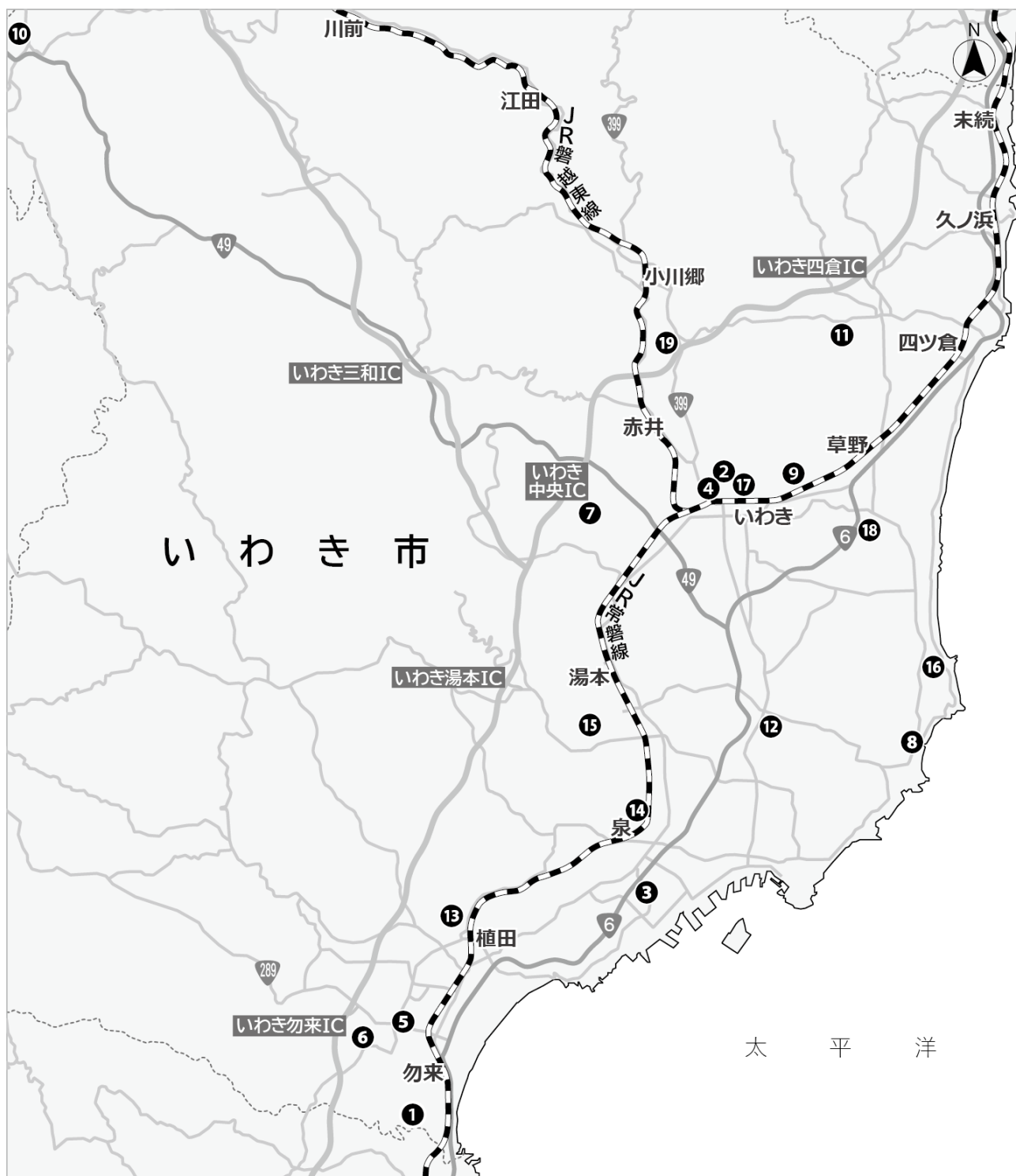
ア 主な発掘調査業務

- ① 北作B遺跡 (勿来町関田)
- ② 平城跡第44次 (平字旧城跡)
- ③ 谷地川遺跡 (泉町下川)
- ④ 平城跡第45次 (平字旧城跡)
- ⑤ 坂ノ上遺跡 (勿来町大高)
- ⑥ 関根遺跡 (勿来町酒井)
- ⑦ 田代原A遺跡 (好間町上好間)
- ⑧ 下神白館跡 (小名浜下神白)
- ⑨ 上神谷条里跡 (平上神谷)
- ⑩ 三坂城跡 (三和町上三坂)

- ⑪ 大野条里跡 (四倉町薬王寺)
- ⑫ 木船遺跡 (鹿島町久保)
- ⑬ 花ノ井B遺跡 (錦町花ノ井)
- ⑭ 道下遺跡 (泉玉露)

イ 整理等作業、報告書作成・刊行業務

- ⑮ 湯長谷館跡 (常磐下湯長谷町)
- ⑯ 餓鬼堂横穴群 (平薄磯)
- ⑰ 平城跡第26・34・37次 (平字柳町)
- ⑱ 砂畑遺跡 (平菅波)
- ⑲ 梅ノ作瓦窯跡群 (小川町下小川)



2 施設部門（公2 教育文化施設の管理運営事業）

(1) いわき市立草野心平記念文学館及び草野心平生家

文学館 いわき市小川町高萩字下夕道 1 番地の39 平成10年 7 月19日開館
 生 家 いわき市小川町上小川字植ノ内 6 番地の 1 平成15年 4 月10日開館
 委託者及び指定管理期間 いわき市 令和 6 年 4 月 1 日～令和11年 3 月31日

令和 7 年度の開館日数は310日（前年度309日）であった。利用者は、いわき市立草野心平記念文学館で6,687人、前年度比1,417人の増加、いわき市草野心平生家で979人、前年度比112人の増加となった。利用者数が増加した要因としては、新規事業として子ども映画会やレストラン廊下を会場にした小さな企画展、夏休みと冬に体験事業を行った結果、それまで利用機会の少なかった子どもを含む家族での来訪が多くなったことが挙げられる。また、子ども映画会は、長期休暇期間の学童保育からの需要が高かった。

利用者からは、文学館に対して「心平の生涯と作品をていねいに展示していて感動しました。すてきです」「草野心平の生涯や作品を知ることが出来て、とても興味深く拝見しました」、生家に対しては「なつかしいかんじがする」といった感想が寄せられた。

ア 常設展示事業（団体入館）

各種団体に対し常設展・企画展について解説し、草野心平といわきの文学などを詳しく周知した。次のように24団体、計590人が利用した。

月 日	団 体 名	利用者数
5 月 9 日(金)	いわき市立小川小学校 3・4 年生	47人
5 月22日(木)	かすみがうら市地域女性団体連絡会	45人
7 月 1 日(火)	福島県立いわき光洋高等学校	43人
7 月17日(木)	小川地区民生児童委員協議会	22人
9 月 4 日(木)	いわき市立泉小学校 4 年生	146人
9 月 7 日(日)	ふくしま未来農業協同組合女性部本宮支部	29人
10月17日(金)	小川地区民生児童委員協議会	21人
	いわきの歴史・文学再発見バスツアー①	8 人
10月21日(火)	デイサービス和奏	19人
10月25日(土)	社会福祉法人ゴールデンハーブ	8 人
11月15日(土)	糠田地域振興会	29人
11月16日(日)	福島県いわき地方振興局	20人
11月21日(金)	いわきの歴史・文学再発見バスツアー②	10人
11月26日(水)	いわきの歴史・文学再発見バスツアー③	10人
11月27日(木)	いわきの歴史・文学再発見バスツアー④	7 人
11月28日(金)	いわき市立川部公民館	20人
	東日本国際大学附属昌平中学校	6 人
12月19日(金)	小川地区民生児童委員協議会	22人
3 月 7 日(土)	こどもサークル中央台	6 人
3 月17日(火)	ツクイいわき錦町	15人
3 月26日(木)	社会福祉法人ゴールデンハーブアルケンⅡ	14人
3 月29日(日)	NPO法人あだたら青い空	18人
3 月31日(火)	株式会社みらい	12人
	社会福祉法人ゴールデンハーブアルケンⅡ	13人

イ 企画展示事業

企画展は、「草野心平の書画展」「吉村昭と磐城平城」「臨時収蔵品展」「草野心平と川内村」を開催した。全体で4,855人の入館者があった。

(7) 企画展「草野心平の書画展」

3 月15日(土)～6 月 8 日(日) 1,719人 [4 月 1 日(火)～6 月 8 日(日) 1,513人]

草野心平は約1,400篇の詩以外にも多彩な創作活動を展開し、1956年にアマチュアのデッサングループ「竹林会」を結成すると、1965年には書画を出品した個展を開催し、それ以降日本各地で20回の個展を開催している。詩人独特の感性で創作された書画の魅力を紹介した。

関連事業 ギャラリートーク 5 月10日(土)、6 月 7 日(土)いずれも14時～14時30分、5 月13日(火)、同21日(水)、同29日(木)、6 月 3 日(火)いずれも15時～15時30分 計32人

(イ) 企画展「吉村昭と磐城平城」
7月5日(土)～9月21日(日) 2,525人 小説家・吉村昭(1927～2006)は、戊辰戦争を題材とした『彰義隊』に磐城平城落城の様子を描いている。磐城平城は戊辰戦争で落城・焼失するまで、磐城平藩の重要な儀礼・政治の場であった。吉村昭の生涯や代表作、『彰義隊』執筆時のいわきの郷土史家との交流、磐城平城の発掘調査で出土した遺物などを紹介した。
関連事業 a ギャラリートーク 7月13日(日)、8月3日(日)、9月14日(日)いずれも14時～14時30分 計7人 b 講演会「吉村昭 奇跡の生涯」 9月7日(日)14時～15時30分 61人 谷口桂子氏(吉村昭三部作著者)を講師に迎え、吉村昭の生涯を紹介した。
(ウ) 企画展「臨時収蔵品展」
11月30日(日)～1月12日(月)祝 513人 近年収蔵した草野心平の自筆原稿や日記、書画、身辺諸品などを紹介した。
関連事業 ギャラリートーク 12月7日(日)14時～14時30分 3人
(エ) 企画展「草野心平と川内村」
3月14日(土)～6月7日(日) 304人 [3月31日(火)現在] 天山文庫が設立60年を迎えるのにあわせ、心平と川内村に関する作品を紹介した。
関連事業 ギャラリートーク 3月21日(土)14時～14時30分 2人

ウ その他の事業

スポット展示、小さな企画展、子ども映画会、篠笛コンサート、文学散歩、サマーナイトの催し、夏休みの催し、アトリウムコンサート、冬の催し、ガリ版ワークショップ、文芸講演会などを開催した。

(ア) スポット展示
a 「猪狩満直 ―満直が描いた絵―」 4月12日(土)～6月22日(日) いわきゆかりの詩人猪狩満直が描いた水彩画や素描、木版画など紹介した。
b 「草野心平 史跡を歩く」 7月12日(土)～9月28日(日) 企画展「吉村昭と磐城平城」にちなみ、心平と史跡との関わりを紹介した。
c 「吉野せい」 10月4日(土)～12月21日(日) いわきゆかりの作家で、草野心平とも交友があった吉野せいの生涯と作品の魅力を紹介した。
d 「草野天平」 1月2日(金)～3月22日(日) 詩人草野天平と兄心平の関わりを紹介した。
(イ) 小さな企画展
a 「心平の愛した花々 『春の花』編」 4月26日(土)～6月29日(日) 草野心平の作品に書かれた春の植物を詩や随筆とともに紹介した。 関連事業 ギャラリートーク 5月13日(火)、同21日(水)、同29日(木)、6月3日(火)、同11日(水)、同19日(木)、同26日(木)いずれも14時～15時30分 計40人
b 「『蛇ニ喰ハレタ蛙ノ子供』『月夜』とモリアオガエル展」 6月13日(金)～7月27日(日) 平伏沼(福島県双葉郡川内村)のモリアオガエルを草野心平の詩とともに紹介した。
c 「心平の愛した花々 『夏の花』編」 7月11日(金)～9月28日(日) 草野心平の作品に書かれた夏の植物を詩や随筆とともに紹介した。 関連事業 ギャラリートーク 9月13日(土)、同20日(土)、同27日(土)いずれも15時～16時30分 計25人
d 「コウノトリと帰らない白鳥展」 7月11日(金)～8月31日(日) 小川町に飛来したコウノトリを草野心平の詩とともに紹介した。
e 「令和元年台風19号」 7月30日(水)～9月28日(日) 小川地区に甚大な被害をもたらした令和元年台風19号を、記録と市民から寄せられた写真で紹介した。
f 「心平の愛した花々 『秋の花』編」 10月11日(土)～12月14日(日) 草野心平の作品に書かれた秋の植物を詩や随筆とともに紹介した。 関連事業 ギャラリートーク 11月7日(金)、同22日(土)、同29日(土)、12月9日(火)いずれも14時～15時30分 計23人

(イ) 小さな企画展	
g	「心平の愛した花々 『冬の花』編」 1月2日(金)～3月29日(日) 草野心平の作品に書かれた冬の植物を詩や随筆とともに紹介した。 関連事業 ギャラリートーク 3月5日(木)、同12日(木)、同19日(木)、同26日(木)いずれも14時～15時30分 計6人
h	「東日本大震災から15年 防災伝承絵本と石巻市震災遺構大川小学校が伝えるもの」 1月17日(土)～3月29日(日) 自分の命を守るために役立つ防災伝承絵本を紹介するとともに、大川小学校事故の教訓を紹介した。
(ウ) 子ども映画会	
4月29日(月)祝～1月25日(日)10時～11時・10時～12時・14時～16時・14時～15時 計83回491人 土・日曜日や祝日に、子どもを対象にした映画作品を小講堂で上映した。	
(エ) いわき濤笛会 山口流篠笛コンサート「竹の遠音—雲雀—」	
5月6日(火)休14時～15時 36名 草野心平の詩に触れながら、季節にちなんだ曲目を篠笛の音色で紹介した。	
(オ) 文学散歩「磐城平城を歩く」(連携 いわき市考古資料館)	
6月14日(土)10時～12時 26人 企画展「吉村昭と磐城平城」にちなみ、いわき市考古資料館館長を講師に迎え、磐城平城跡を発掘調査の成果を踏まえて解説しながら歩いた。	
(カ) サマーナイトの催し 計198人	
a	コンサート「音楽仕掛けのトゥールビヨン」 7月5日(土)17時～18時 26人 出演 重廣誠氏、山田メイ氏、よしおかよしみ氏
b	朗読会「昭和のひとつま」 7月26日(土)17時～18時30分 37人 出演 朗読サロン・ミモザ、伊藤直子氏
c	コンサート「愛でいっぱい！の2025夏にしよう。」 8月2日(土)17時～18時 15人 出演 中島蒼氏、加藤ちゃぼ氏
d	コンサート「アモーレ(愛)」 8月9日(土)17時～18時 52人 出演 加藤功氏
e	コンサート「デュオジャズナイト」 8月16日(土)17時～18時 68人 出演 デュオ三昧
(キ) 夏休みの催し	
a	工作 7月20日(日)～8月17日(日) 毎週日曜日10時～12時 5回実施 計42人 風鈴や万華鏡、たまごのおきあがりこぼしなどを制作した。
b	まが玉作り(連携 いわき市考古資料館) 7月20日(日)～8月17日(日) 毎週日曜日14時～15時30分 計5回43人 いわき市考古資料館のプログラムであるまが玉作りを実施した。
c	文学館クイズ 7月21日(月)祝9時～16時 10人 当館に関する謎解きを楽しんだ。参加者には記念品を配付した。
d	夏休み映画会 7月23日(水)～8月20日(水) 毎週水曜日10時～11時・14時～15時 計10回17人 子どもを対象にした映画作品を上映した。
e	昔遊び 7月24日(木)～8月21日(木) 毎週木曜日10時～12時 計5回54人 糸電話や紙飛行機などを制作し、昔ながらの遊びで楽しんだ。
f	ちょっとこわい怪談話 7月25日(金)～8月22日(金) 毎週金曜日10時～11時・14時～15時 計10回56人 夏にぴったりの怪談話などで楽しんだ。
g	文学王におれはなる！ 8月2日(土)～同16日(土) 毎週土曜日10時～12時 計3回18人 絵手紙体験や短冊づくりなどを実施し、文学に親しむきっかけとした。
h	移動水族館 8月24日(日)10時～15時 317人(協力 ふくしま海洋科学館、あそび広場いりどり) 海の生きものたちとの触れ合いコーナーや、小川地区の農産物や軽食販売などを実施した。また、あそび広場では、子どもたちが様々な「グッド・トイ」を楽しんだ。
(ク) アトリウムコンサート	
9月21日(日)14時～15時 70人 いわき市立小川中学校吹奏楽部が出演し、「残酷な天使のテーゼ」などの曲目を演奏した。	
(ケ) 吉野せい賞協力事業(吉野せい賞運営委員会、いわき市主催)	
a	吉野せい賞表彰式・記念講演会 11月1日(土)13時～15時 90人 吉野せい賞表彰式・作品募集ポスター表彰式を開催し、佐藤厚志氏(小説家)を講師に迎え、「地方で小説を書く」と題して講演した。

(ケ) 吉野せい賞協力事業（吉野せい賞運営委員会、いわき市主催）
b 吉野せい賞作品募集ポスター展示 11月1日(土)～同24日(月)休 吉野せい賞作品募集ポスター応募作品を展示した。
(コ) 冬の催し
a おりがみでクリスマスリースをつくろう 11月11日(火)、同18日(火)13時30分～15時 計0人 鐘やキャンドル、ひいらぎの葉などのクリスマスリースを折り紙で制作。
b 謎解きチャレンジ 11月13日(木)～12月20日(土)9時～16時 計30人 大人と子どもを対象に謎解きクイズや熟語パズルなどを実施した。
c おとなの塗り絵体験 11月13日(木)、12月19日(金)13時30分～15時 計0人 大人を対象に塗り絵を制作。
d とびだすクリスマスカードをつくろう 12月10日(水)、同24日(水)13時30分～15時 計7人 クリスマスカードを切り絵で制作した。
e たまごのおきあがりこぼしをつくろう 12月11日(木)、同21日(日)13時30分～15時 計6人 卵型のおきあがりこぼしを制作した。
f 凧あげをしよう 1月4日(日)、同7日(水)10時～12時 計5人 ビニール袋や紙などを使った凧を制作し、屋外で凧あげを行った。
(ク) ガリ版ワークショップ
a ガリ版ワークショップ 12月6日(土)13時30分～15時 14人 草野心平が謄写版印刷機（ガリ版）で詩集を作ったことにちなみ、オリジナルのカードを作り、かつての印刷機材と技術に触れた。
b 参加者作品紹介 1月2日(金)～同12日(月)祝 「ガリ版ワークショップ」の作品を紹介し、年賀状などで年始の来館者を迎えた。
(ク) クリスマスえほんコンサート
12月14日(日)14時～15時 72人 クリスマスにちなんだ絵本の読み聞かせと演奏会を実施し、文学館ボランティアの会会員が扮するサンタクロースがお菓子をプレゼントした。
(ク) 文芸講演会「がんと生ききる～本から学んだこと～」
2月8日(日)14時～15時30分 75人 落合恵子氏（作家、クレヨンハウス主宰）を講師に迎え、自身ががんと診断されてから考えたことを語った。
(ケ) ミニロビー展「文学館の夏と冬の思い出で楽しもう」
2月20日(金)～3月29日(日) 「夏休みの催し」と「冬の催し」で制作した作品を紹介し、当館での体験学習を振り返った。

エ 草野心平生家の催し

草野心平作品とふるさとに親しみを持ってもらう「心平誕生月の展示」、心平と弟天平を偲ぶ「心平忌」「草野天平の集い」などを草野心平生家ボランティアの会と連携しながら開催した。

(ア) 心平誕生月の展示
5月11日(日)～6月22日(日) 「蛙の詩人」と呼ばれた草野心平の誕生月に、小川地区の小学生が制作したカエルのタマゴランタンを展示した。
(イ) カエルのクラフトワークショップ
7月19日(土)14時～15時 16人 草野心平が蛙を主題とした詩を多く作ったことにちなみ、カエルの紙版画を制作した。
(ウ) 子どもじゃんがら
8月11日(月)祝11時～11時30分 60人 草野心平が生家に暮らした少年時代と同年代の小学生によるじゃんがら念仏踊を披露した。
(エ) 没後38回忌「心平忌」
11月9日(日)13時30分～15時 9人 草野心平の命日（11月12日）にちなみ、心平の書画に関する卓話と心平・ゆかりの故人の墓参を行った。
(オ) 草野天平の集い
2月28日(土)13時30分～14時30分 39人 草野天平の誕生月にちなみ、女声アンサンブルLe ciel（ルシエル）による天平作詩の曲やゆかりの曲を披露し、天平を偲んだ。

オ 文学館ボランティアの会事業

文学館ボランティアの会では、グッズ販売や当館主催事業の運営補助に加え、文学ゆかりの場所をめぐる文学散歩や朗読サロン及び草野心平作品を紹介する居酒屋「火の車」一日開店などを主催した。

ア) 朗読サロン
4月12日(土)～3月7日(土) 毎月土曜日11時～12時 計12回91人
イ) 文学散歩「龍燈伝説の地・関伽井嶽の文学碑を訪ねる」
10月25日(土)10時～11時30分 15人 関伽井嶽薬師常福寺敷地内に残る文学碑を見学し、秋の常福寺境内を散策した。
ウ) 居酒屋「火の車」一日開店
3月15日(日)11時～12時 32人 草野心平が東京で居酒屋「火の車」を開いていた頃に書いた随筆などを朗読し、鑑賞後にノンアルコールビールとおつまみをお土産として提供した。

カ 連携事業

ア) 指定管理施設との連携
当財団指定管理施設と連携し、5事業を実施した。詳細は3-(4)-ア、イのとおり。
イ) 地域との連携
a 池坊平支部藤本社中展「紫のしらべ～かきつばたに魅せられて～」(主催 池坊平支部藤本社中) 4月26日(土)～同27日(日)10時～16時 計268人(文学館162人・生家106人) 古くから多くの人々を魅了し、日本の文化や歴史に根付いているかきつばたの立花や生花、自由花を展示した。
b 福島の詩人・和合亮一による詩作ワークショップ(主催 いわき芸術文化交流館) 5月11日(日)13時～16時30分 10人 谷川俊太郎と草野心平という、いわきに縁のある詩人の作品に触れ、言葉を集め、感じたことをもとに詩を作った。
c 夏の詩のセミナー(主催 歷程) 8月30日(土)10時～17時 35人 草野心平が創刊に参加し、現在まで発行を続けている同人詩誌「歷程」のセミナーを共催した。
d 小川地区成人式(主催 いわき市成人式実行委員会) 1月11日(日)11時30分～12時 46人
e おでかけアリオス BRAVI TROMBE!! トランペットアンサンブルコンサート(主催 いわき芸術文化交流館) 1月31日(土)14時～15時 77人 出演 多田将太郎氏、川村大氏、重井吉彦氏、高橋ドレミ氏

キ 自主事業(出前講座)

いわきの文学などに関する講義や移動展示を実施し、受講者の理解を深める機会を提供した。4団体、計63人が受講した。詳細は3-(4)-ウのとおり。

ク 事業懇談会

日時	出席委員数	議題
第1回事業懇談会 9月18日(木) 10時～11時	9人	入館者数の推移について 令和6年度いわき市草野心平記念館の事業について 令和6年度アンケート結果について 令和7年度いわき市草野心平記念館の事業について その他
第2回事業懇談会 3月24日(火) 10時30分～11時30分	9人	入館者数の推移について 令和7年度いわき市草野心平記念館の実施事業について 令和7年度アンケート結果について 令和8年度いわき市草野心平記念館の事業について その他

(2) いわき市暮らしの伝承郷

いわき市鹿島町下矢田字散野14番地の16 平成11年7月18日開園
委託者及び指定管理期間 いわき市 令和6年4月1日～令和11年3月31日

令和7年度の利用者は11,683人で、前年度比678人の減少となった。利用者数が減少した要因としては、猛暑による夏季期間の入園者の減少、自主事業への参加者の減少、企画展示室貸出利用の減少などが挙げられる。

常設展示室では、テレビモニターで企画展示関連のアニメーションの上映を行うなど新たな活用を行った。2月からは、いわき駅前大通りに設置されていた「じゃんがら・からくり時計」を構成した2体の人形が展示に加わった。また、4月に小名浜港に寄港した外国船からの見学者を迎え入れる準備として、簡単な英語の案内パンフレットを作成し、来園者に配布を始めた。

園内の景観復元は、畑作・里山作りのほか、盆棚飾りやお月見、餅花作りなどの年中行事を実施し、古民家で生活が営まれた時代の復元に努めた。

その他、ボランティアの育成や資料収集・整理作業、民俗調査・レファレンスなどを通年で実施した。

ア 常設展示事業（団体入園）

園内の古民家・昔の道具等について解説し、次のように60団体、計2,441人が利用した。

月 日	団 体 名	内 容	利用者数
4月18日(金)	いわき光成園	園内見学	16人
4月27日(日)	オーシャン・リビエラ (クルーズ船)	園内見学	89人
5月2日(金)	いわき市立草野小学校 3年生	園内見学	78人
5月28日(水)	いわき市立平第五小学校 3年生	園内見学	85人
6月18日(水)	いわき市立綴小学校 3・4年生	園内見学	16人
6月23日(月)	いわき市立御厩小学校 3年生	園内見学	55人
7月3日(木)	いわき市立中央台南小学校 3年生	園内見学	39人
7月4日(金)	社会福祉法人いわきの里	園内見学	22人
7月5日(土)	田村市中央公民館	園内見学	12人
7月11日(金)	いわき市立豊間小学校 3年生	園内見学・昔遊び体験・石臼体験	40人
9月4日(木)	いわき市立泉小学校 3年生	園内見学	142人
9月8日(月)	いわき市立勿来第二小学校 3・4年生	園内見学・昔遊び体験	43人
9月10日(水)	いわき市立夏井小学校 3年生	園内見学・石臼体験	14人
9月12日(金)	いわき市立小名浜西小学校 3年生	園内見学	79人
	いわき市立内町小学校 3年生	園内見学・昔遊び体験	29人
9月17日(水)	いわき市立高坂小学校 3年生	園内見学	67人
9月19日(金)	いわき市立平第二小学校 3年生	園内見学	63人
	いわき市立四倉小学校 3年生	園内見学・昔遊び体験	60人
9月22日(月)	いわき市立錦小学校 3年生	園内見学・昔遊び体験	58人
9月25日(木)	いわき市立小名浜第三小学校 3年生	園内見学	79人
9月26日(金)	いわき市立永崎小学校 3年生	園内見学・石臼体験	38人
	いわき市立小名浜第一小学校 3年生	園内見学	50人
	いわき市立高久小学校 3年生	園内見学	19人
9月29日(月)	いわき市立江名小学校 3年生	園内見学・石臼体験	17人
10月3日(金)	いわき市立小名浜東小学校 3年生	園内見学・昔遊び体験	69人
	いわき市立赤井小学校 3年生	園内見学	36人
	いわき市立湯本第二小学校 3年生	園内見学	25人
10月9日(木)	いわき市立菊田小学校 3年生	園内見学・石臼体験	59人
10月10日(金)	いわき市立藤原小学校 3年生	園内見学・昔遊び体験	19人
10月15日(水)	いわき市立渡辺小学校 3年生	園内見学	21人

月 日	団 体 名	内 容	利用者数
10月17日(金)	いわきの歴史・文学再発見バスツアー①	園内見学	8人
10月20日(月)	神谷こども園	園内見学	43人
10月24日(金)	いわき市立湯本第一小学校 3年生	園内見学	60人
	茨城県立北茨城特別支援学校 中学部	園内見学	37人
10月30日(木)	田村市中央公民館	園内見学	18人
10月31日(金)	いわき市立小名浜第二小学校 3年生	園内見学	50人
	いわき市立汐見が丘小学校 2年生	園内見学・昔遊び体験	41人
11月5日(水)	田村市中央公民館	園内見学	17人
	いわき市立平第四小学校 3年生	園内見学	38人
11月7日(金)	いわき市立鹿島小学校 3年生	園内見学・昔遊び体験	48人
	いわき市立好間第二小学校 3年生	園内見学	32人
	いわき市立泉北小学校 3年生	園内見学	112人
11月10日(月)	いわき市立中央台南小学校 5年生	脱穀体験	36人
11月14日(金)	北海道開拓の村ボランティアの会	園内見学	25人
11月19日(水)	いわき市立夏井公民館	園内見学	11人
11月21日(金)	いわきの歴史・文学再発見バスツアー②	園内見学	10人
11月22日(土)	いわき市立鹿島公民館歴史サークル	園内見学	16人
11月26日(水)	いわきの歴史・文学再発見バスツアー③	園内見学	10人
11月27日(木)	いわきの歴史・文学再発見バスツアー④	園内見学	7人
12月3日(水)	公益財団法人磐城済世会松村看護専門学校 1年生	園内見学、麦藁のコースター作り体験、園内オリエンテーリング	23人
12月5日(金)	いわき市立勿来第一小学校 3年生	園内見学	89人
1月21日(水)	いわき市立錦東小学校 3年生	園内見学、昔遊び体験、石臼体験	40人
1月22日(木)	いわき市立中央台東小学校 3年生	園内見学	37人
1月30日(金)	いわき市立郷ヶ丘小学校 3年生	園内見学	62人
2月4日(水)	双葉町立双葉南・北小学校 3年生	園内見学	2人
2月16日(月)	福島県立いわき支援学校 高等部	園内見学	10人
2月19日(木)	いわき市立中央台南小学校 3年生	園内見学	38人
2月27日(金)	いわき市立中央台北小学校 3年生	園内見学、昔遊び体験	34人
3月8日(日)	いわき北地区更生保護女性会	園内見学	18人
3月25日(水)	北茨城市教育委員会生涯学習課「むかし体験教室」	園内見学、昔遊び体験、掃除体験	30人

イ 企画展示事業

企画展は2回開催した。「いわきの民話と伝承文学」では、いわき市内に伝わる民話や伝承について、その内容や分布状況などを紹介した。また、物語に登場する民具資料も展示し、読むだけではなく、視覚的にも楽しめる工夫を施した。

「漁業と浜の暮らし」では、いわき市内沿岸部の漁業や生業について、その内容や特徴を収蔵品や解説パネル、写真などで紹介した。関連事業の「鯉節って何？—鯉節削り体験—」では、幅広い世代の参加者があり、大変好評だった。

ロビー展では、端午の節句飾り、七夕飾り、おひなさま飾りにちなんだ収蔵資料を紹介した。その他、「津軽こぎん刺し作品展」及び関連ワークショップ、「いわきの近代と牧牛共立社」を開催した。

ア) 第1回企画展「いわきの民話と伝承文学」

5月17日(土)～8月17日(日) 1,942人

いわき市内に伝わる民話や伝承について、その内容や分布状況などを紹介した。また、物語に登場する民具資料も展示し、読むだけではなく、視覚的にも解説した。

関連事業 展示解説会 5月24日(土)、6月7日(土)、同21日(土)、7月5日(土)、同19日(土)、8月9日(土)
いずれも13時30分～14時30分 計39人

(イ) 第2回企画展「漁業と浜の暮らし」	
11月8日(土)～2月8日(日) 2,142人 いわき市内沿岸部の漁業や生業について、その内容や特徴を収蔵品や解説パネル、写真などで紹介した。	
関連事業	
a	展示解説会 11月22日(土)10時30分～11時30分、12月6日(土)、同20日(土)、1月3日(土)、同17日(土)、同31日(土)いずれも13時30分～14時30分 計17人
b	「鰹節って何?—鰹節削り体験—」1月25日(日)10時～、11時～、13時～、14時～ 計25人 株式会社になべんの協力を得て、本枯鰹節ができるまでの工程を鰹のぬいぐるみを用いて疑似体験し、その後鰹節削り器で鰹節削り体験を行った。
(ウ) ロビー展	
a	端午の節句飾り 4月19日(土)～6月9日(月) 絵のぼり4点、節句飾り4点、鯉のぼり2点、関係資料と解説パネルを展示した。
b	七夕飾り 7月6日(日)～8月11日(月)祝 笹飾りと藁馬、七夕の歴史についての解説パネルを展示した。
c	津軽こぎん刺し作品展 11月2日(日)～同30日(日) いわき市出身で津軽こぎん刺し作家の塩谷美江氏の作品を中心に、こぎん刺し教室の受講者の作品を展示した。
d	おひなさま飾り 2月21日(土)～3月30日(月) 市民から寄贈を受けた雛人形及び関連資料を展示した。
e	いわきの近代と牧牛共立社 3月7日(土)～同29日(日) 福島県内初の牧畜会社とされる「牧牛共立社」の開設150周年を記念し、同社の内容について、関連資料及び古文書を展示した。

ウ 古民家維持管理事業（業者委託を除く） 期間 4月1日(火)～3月31日(火)

園内景観復元・伝承・管理作業をボランティア延べ926人の協力を得ながら実施した。内容は、畑作、里山作り、除草、落葉掻き・堆肥作り、植木剪定・枝落とし、垣根作り、民家清掃、囲炉裏の火焚き、薪作り、花木の展示、園内危険箇所点検・修繕などである。

古民家内部は、定期的に囲炉裏に火を入れ燻蒸するとともに、手入れをし、できる限り人が生活していた時と同じように年中行事を実施した。

本年度は、体調不良などの理由からボランティア登録者が減少したため、12月からボランティア募集をしたところ、新たに9人の登録があった。

エ 調査研究事業

市内各地の民俗の記録撮影や関係者への聞き取り調査を実施した。

期間・月日	内 容
4月～5月	市内各地の民話伝承地の踏査等。
8月3日(日)	中之作の吉田忠右衛門家についての聞き取り調査。
8月26日(火)	久之浜の蛸漁についての聞き取り調査。
8月31日(日)	柴燈大護摩（関伽井嶽薬師常福寺）で行われたじゃんがら念仏踊りの記録撮影。
9月1日(月)	中之作の漁港と鰹節作りについての聞き取り調査。
9月～10月	漁業関係の記念碑の踏査等。
9月13日(土)	道の駅ら・ら・ミュウグランドオープンイベントで行われたじゃんがら念仏踊りの記録撮影。
9月14日(日)	入旅人の念仏太鼓・棒術の記録撮影。
9月18日(木)	絹谷の獅子舞の練習風景の記録撮影および聞き取り調査。
9月28日(日)	絹谷及び高坂の獅子舞の記録撮影。
10月6日(月)	万祝についての聞き取り調査。
1月8日(木)	大國魂神社の鳥小屋の記録撮影。
1月10日(土)	金刀比羅神社例大祭の記録撮影。
	内郷町高野の酉小屋に関する聞き取り調査。
1月12日(月)祝	内郷町高野の酉小屋の記録撮影。

期間・月日	内 容
3月4日(水)	清航館の記録撮影及び聞き取り調査。
3月22日(日)	國魂神社の鍬打祭の記録撮影。

オ 講演会等事業

伝承郷講座は2回、古文書講座は3回実施した。

古文書講座では、講師の丁寧な指導が受講者に好評だった。

また、子ども向け講座「めざせ！『子ども落語家』講座」は、開始から4年目となる。継続の受講者も多く、受講者が互いに刺激し、練習を積んでいた。発表会では、会場が笑いに溢れ、大盛況に終わった。

その他、市内に残る伝統芸能の実演は毎年恒例となっており、楽しみに来園する方も多い。今年度は「西郷子供じゃんがらの会」と「絹谷獅子舞保存会」が実演した。

共催事業では、学習管理棟休憩コーナーを会場に、ギター、箏・尺八や篠笛などの演奏会や寄席、こぎん刺しのワークショップなどを11回実施した。いずれも、各団体の熱演に入園者の満足度も高かった。

(ア) 伝承郷講座（全2回）	
10月12日(日)、2月22日(日)いずれも13時30分～15時 計49人 第1回「いわきの人々と蛇との話」は、夏井芳徳氏（医療創生大学客員教授）を講師に迎え、いわきの民話や伝説などを読み解き、先人たちと蛇とのかかわりなどの話を講演した。 第2回「ふくしまの海を生きる人びと」は、川島秀一氏（東北大学災害科学国際研究所 シニア研究員）を講師に迎え、浜通り地方の漁業民俗を中心とした内容について講演した。	
(イ) めざせ！「子ども落語家」講座（4回連続講座と発表会）	
11月23日(日)祝、12月21日(日)、1月18日(日)、2月15日(日)、3月15日(日)いずれも10時～12時 計49人 山椒家小粒氏を講師に迎え、子どもたちが古典芸能「落語」を学んだ。	
(ウ) 古文書講座（3回連続講座）	
2月14日(土)、同21日(土)、同28日(土)いずれも10時～12時 計46人 田仲桂氏（いわき市文化財保護審議会委員）を講師に迎え、古文書読解の基礎を学んだ。	
(エ) 演奏・朗読等（ ）内は共催団体等	
a	第10・11・12回小雀落語会（小名浜雀笑落語会）6月1日(日)・8月31日(日)・11月30日(日)いずれも14時～16時 計144人 いわき市在住の落語家団体が、落語会を行った。
b	七夕コンサート（箏アンサンブル雷神）7月6日(日)14時～15時 42人 箏や笛などのアンサンブルで七夕にちなむ曲の演奏会を行った。
c	朗読会「宮沢賢治童話の朗読会」（いわき賢治の会・朗読の芽）10月5日(日)14時～15時 40人 宮沢賢治ゆかりの童話の朗読会を行った。
d	名月篠笛演奏会（いわき濤笛会）10月11日(土)14時～15時 23人 篠笛で月にちなむ曲の演奏会を行った。
e	演奏会「ギターコンサート」（コン・アモーレ）10月19日(日)14時～15時 21人 いわき市在住の演奏グループが、アコースティックギターの演奏会を行った。
f	津軽こぎん刺しワークショップ（塩谷美江）11月5日(水)10時～12時・13時～15時 計16人 いわき市出身のこぎん刺し作家が、コースターを作るワークショップを行った。
g	朗読会「昭和のひとこまパート2絆」（朗読サロンミモザ）11月22日(土)13時～15時 58人 ハーモニカによる演奏を交えながら、昭和にちなむ朗読会を行った。
h	新春箏コンサート（筑紫野会）1月11日(日)14時～15時 33人 箏や笛などのアンサンブルで新春にちなむ曲の演奏会を行った。
i	桃の節句篠笛演奏会（いわき濤笛会）3月1日(日)14時～15時 34人 篠笛で桃の節句にちなむ曲の演奏会を行った。
(オ) 伝統芸能実演	
a	じゃんがら念仏踊り 8月17日(日)10時～11時 57人 「西郷子供じゃんがらの会」が、民家ゾーンの庭でじゃんがら念仏踊りを実演した。
b	三匹獅子舞 10月11日(土)10時30分～11時30分 75人 「絹谷獅子舞保存会」が、企画展示室で三匹獅子舞を実演した。

カ 体験学習事業

体験学習会（主催）では、「藁馬作り」「竹かご作り」「布ぞうり作り」など、季節にあわせた内容で9回実施した。

「キッズミュージアムin伝承郷」は、園内全域を会場とし、「折り紙」「ビニール袋でパラシュート作り」の工作体験や、「割りばし鉄砲作りと射的」等を実施した。その他、「竹馬」「ベーゴマ」「羽根つき」などの道具を貸し出し、近年では体験することの少ない昔遊びの場を提供することができた。

ア) 体験学習会	
a	けん玉道場 5月5日(月)祝10時～12時 23人 けん玉8氏を講師に迎え、けん玉を体験した。希望者にはけん玉の級・段位認定も行った。
b	民話の語り①・② 6月8日(日)、7月20日(日)いずれも13時30分～14時30分 計39人 第1回は「民話を語ろう会」、第2回は「いわき民話の会」を語り部に、「木仏長者」や「河童の恩返し」、企画展で紹介した「蛇岸淵」や「賽の河原」などの民話を聴講した。
c	藁馬作り 7月27日(日)10時～12時 9人 高橋政雄氏を講師に迎え、麦藁を使った藁馬作りを体験した。
d	竹かご作り 11月15日(土)9時30分～15時 同16日(日)9時30分～12時 計17人 大平良章氏を講師に迎え、竹かご作りを体験した。
e	正月飾り作り（神棚用） 12月14日(日)9時～12時 9人 鈴木美雄氏を講師に迎え、神棚用の正月飾り作りを体験した。
f	正月飾り作り（玄関用） 12月20日(土)9時30分～12時 13人 高橋政雄氏を講師に迎え、玄関用の正月飾り作りを体験した。
g	布ぞうり作り 2月7日(土)、同22日(日)9時30分～12時 計11人 高橋政雄氏を講師に迎え、布ぞうり作りを体験した。
h	第7回伝承郷寄席 3月29日(日)14時～16時 55人 山椒家小粒氏、鹿島亭貸間氏が「御神酒徳利」「抜け雀」などの落語を披露した。
イ) 2025キッズミュージアムin伝承郷	
10月25日(土)10時～15時 74人 シャボン玉、竹馬、ベーゴマ、割りばし鉄砲、羽根つきなどの昔遊びを体験した。	

キ 年中行事事業

季節の節目にいわき地方で行われている様々な年中行事を再現・展示した。年配の来園者はかつての行事を懐かしむ一方、若年世代や子どもたちには新たな経験として新鮮に感じられるなど、地域に受け継がれた風習に興味を持つきっかけとなった。

月日・期間	行事名
4月19日(土)～6月9日(月)	端午の節句飾り
7月5日(土)～9月15日(月)祝	蚊帳吊り
7月6日(日)～8月11日(月)祝	七夕飾り
8月13日(水)～8月17日(日)	盆棚飾り
8月31日(日)	二百十日
10月6日(月) (旧暦8月15日)	お月見・お月見どろぼう
11月16日(日)	干し柿作り
12月8日(月)	こと八日
12月10日(水) (旧暦10月20日)	エビスコ
12月上旬	煤払い
12月20日(土) (旧暦11月1日)	神帰
12月下旬～1月上旬	正月飾り
1月5日(月)	山入り
1月11日(日)	農立て
1月15日(木)	小正月の餅花飾り
2月1日(日)	初午
2月2日(月)	節分
2月8日(日)	こと八日
2月21日(土)～3月30日(月)	おひなさま飾り
3月8日(日) (旧暦1月20日)	エビスコ

ク ボランティア育成事業

3月末日現在、ボランティアの登録者は40人、活動実績は園内ガイド計37回、延べ70人。

2025キッズミュージアムin伝承郷では、計11人（うち青少年ボランティア1人）が昔遊び体験の補助を行い、年中行事「小正月の餅花飾り」では、計14人（うち青少年ボランティア4人）が餅花飾りの制作補助を行った。その他、小学校の出前講座で計2回、延べ3人が昔遊び体験の補助を行った。

ア) ガイドボランティア例会
4月27日(日)～3月23日(月) 原則毎月第4月曜日いずれも13時30分～14時30分 延べ78人
イ) 他団体との交流
11月14日(金) 野外博物館北海道開拓の村のボランティア会と職員25人が来園し、ガイドボランティア6人と交流会を行った。

ケ レファレンス対応

ア) 資料貸出 7件

貸出月日	返却月日	貸出先	内容
4月7日(月)	10月17日(金)	個人	大学研究者への資料提供 高木誠一関連資料一式
4月15日(火)	1月20日(火)	いわき市勿来関文学歴史館	企画展「遠野和紙」展示の参考 「伝統の技 紙漉き」展関連資料一式
6月26日(木)	10月10日(金)	いわき市立草野心平記念文学館	企画展「吉村昭と磐城平城」展示 「七新葉」上下巻、重訂解体新書 銅板全図
11月24日(月)(休)	12月6日(土)	いわき市立小玉小学校	社会科授業で使用 民具17点
11月26日(水)	12月19日(金)	いわき市立中央台南小学校	国語科授業で使用 民具1点
1月9日(金)	1月14日(水)	いわき芸術文化交流館	アリオス こどもプロジェクト「第143回あそび工房」で使用 玩具23点
2月9日(月)	2月25日(水)	いわき市立江名小学校	社会科授業で使用 民具13点

イ) 問い合わせ対応 51件

コ 企画展示室貸出状況

いわき市の条例により、企画展開催期間以外は企画展示室を市民に貸し出し、施設の利用促進を図っている。4件、計1,587人の使用があった。

会期・月日	展示会名・事業名	利用者数
9月5日(金)～同7日(日)	加藤豊儀 心のふるさと作品展	438人
9月23日(火)祝～同28日(日)	日本美術刀剣保存協会いわき支部会員所蔵刀剣鑑賞展	213人
10月3日(金)～同6日(月)	澤田仲子となかまたちのパッチワークキルト展	743人
3月20日(金)祝～同22日(日)	なかい押し花教室作品展	193人

サ 指定管理施設との連携

当財団指定管理施設と連携し、2事業を実施した。詳細は3-(4)-イのとおり。

シ 自主事業（出前講座）

昔の暮らしや道具の説明や体験指導を行った。9団体、計392人が受講・体験した。詳細は3-(4)-ウのとおり。

ス 博物館実習生の受け入れ

資格取得に関する科目履修のため、実習学生を受け入れた。

期間	内容
12月27日(土)～1月5日(月)	八洲学園大学 1名 学芸業務全般、展示・体験学習の企画・運営等についての実習。

セ 事業懇談会

日 時	出席委員数	議 題
第1回事業懇談会 7月26日(土) 10時～11時	6人	令和6年度事業報告 令和7年度事業経過報告(4～5月)及び事業計画 (6～3月) その他の事項
第2回事業懇談会 3月7日(土) 10時30分～12時	8人	令和7年度事業経過報告(4～2月) 令和8年度事業計画 その他の事項

(3) いわき市勿来関文学歴史館

いわき市勿来町関田長沢6番地の1 昭和63年7月1日開館
委託者及び指定管理期間 いわき市 令和7年4月1日～令和9年3月31日

令和7年度の利用者は9,318人で、前年度比1,012人の減少となった。利用者が減少した要因としては、団体利用者の減少や前年度と比べて新聞やテレビで取り上げられた回数の減少などが考えられる。今後は展示内容の充実はもとより、SNSを積極的に活用してより多くの方に届く広報活動を心掛けたい。

企画展示事業では、2階第1常設展示室の一角に「風船爆弾と勿来」展示コーナーを設け、かつて勿来町にあった風船爆弾基地にまつわる歴史を、当館が所蔵する関連資料をもとに展示・紹介した。

また、市民ギャラリーについては、写真や文学、芸術作品の展示など創作発表の場として無料で利用可能な旨をホームページ等で周知し、施設の利用促進を図った。

さらに、前年度に引き続き一般社団法人いわき観光まちづくりビューローと共催で、春と秋の行楽シーズンにあわせて勿来の関公園を巡るツアーを実施し、文学・歴史・自然の観点から当地の魅力の再発見につなげた。あわせて「吹風殿寄席」を開催するとともに、夏休み・冬休みの時期に外部講師の協力を得てクラフト教室を開催した。

ア 常設展示事業（団体入館）

各種団体に対し常設展・企画展について解説し、勿来関にまつわる歴史や文化などを詳しく周知した。次のように36団体、計864人が利用した。

月 日	団 体 名	利用者数
4月10日(木)	暖響俳句会	10人
4月11日(金)	全日本年金者組はいわき支部	40人
4月14日(月)	NPO法人地域福祉ネットワークいわき	11人
4月25日(金)	いわき市立勿来第二小学校 4～6年生	84人
4月28日(月)	いわき市立小名浜第三小学校 6年生	75人
5月12日(月)	いわき郷土史サークル	11人
5月23日(金)	茨城境町旭町日之出クラブ	20人
6月2日(月)	関本中同級会	19人
6月4日(水)	歴史研究クラブOB会C組	36人
6月11日(水)	いわき市立中央公民館	23人
6月12日(木)	延暦寺学園 叡山学院	27人
6月29日(日)	頭蛇寺檀信徒研修会	20人
7月1日(火)	福島県立いわき光洋高等学校 2年生	21人
7月6日(日)	有限会社ナビックスタカツーリスト	15人
7月20日(日)	ボーイスカウト大泉第5団カブ隊	9人
7月31日(木)	アトリエハウス児童クラブ	52人
8月10日(日)	東村山郷土研究会	27人
9月16日(火)	御木沢清明学級	26人
9月29日(月)	ろうきんさいたま支店友の会	28人
10月8日(水)	印西地区保護司会	16人

月 日	団 体 名	利用者数
10月19日(日)	友愛会	11人
10月23日(木)	七郷地区公民館	29人
11月 9 日(日)	出し山町内会	34人
11月14日(金)	いわき市立勿来第一小学校 4年生	64人
11月15日(土)	ガスワンふるさと教室	24人
11月17日(月)	天童市長岡地域婦人会	19人
11月18日(火)	高萩市役所	11人
11月20日(木)	熱海史談会	13人
11月21日(金)	いわきの歴史・文学再発見バスツアー②	10人
11月26日(水)	いわきの歴史・文学再発見バスツアー③	10人
11月27日(木)	いわきの歴史・文学再発見バスツアー④	7人
12月 5 日(金)	常陸太田市社会福祉協議会 河内支部	22人
1月15日(木)	会津史跡の旅	20人
2月 8 日(日)	東京情報大学	7人
2月11日(水祝)	恵泉いわき教会	5人
3月 9 日(月)	相馬市道路愛護会	8人

イ 企画展示事業

企画展は、いわきの歴史や資料を中心に紹介した。アンケートでは、「新たに発見されたいわきの歴史や伝統的な文化について学べてよかった」との意見のほか、「地元の知らなかった一面を知ることができた」「解説が詳しく分かりやすかった」との意見が多く寄せられるなど、好評を得た。

会期中には、関連事業として講演会やギャラリートークを開催した。

第1回企画展「磐城平藩と勿来関」では、磐城平城跡の発掘調査に関わった当財団職員が講演会の講師を務め、企画展に関する分野をより深く理解できたと好評だった。

第2回企画展「遠野和紙～受け継がれる伝統～」では、遠野和紙制作者の高嶋祥太氏と協力し、遠野町で開催された「遠野和紙あかり展」を見学するツアーを開催した。

いずれの関連事業も「専門家の解説があつて分かりやすかった」「貴重な体験ができてよかった」などの感想をいただき、大変好評だった。

また、ギャラリートークでは、毎月1回、学芸員が展示内容を詳しく解説した。

(ア) 第1回企画展「磐城平藩と勿来関」
4月19日(土)～8月24日(日) 3,381人 江戸時代、勿来関は磐城平藩の領内にあり、特に藩主であった内藤家とは深い関わりがあるとされている。本展では磐城平藩と勿来関の関わりとともに、磐城平城にまつわる最新の発掘成果などを紹介した。
関連事業
a 講演会「磐城平城本丸御殿の発掘調査」 6月7日(土)14時～15時30分 37人 中山雅弘(当財団特任研究員)が講師を務め、磐城平城本丸跡の発掘調査の概要や、その成果から新たに判明した内容などについて講演した。
b ギャラリートーク 4月20日(日)、5月11日(日)、6月8日(日)、7月13日(日)、8月10日(日)いずれも14時～14時30分 計31人
(イ) 第2回企画展「遠野和紙～受け継がれる伝統～」
9月13日(土)～1月18日(日) 3,153人 いわき市遠野地区で古くから生産されている上質な手漉き和紙の紙漉きの歴史と、現在まで受け継がれている手漉き和紙の製造技術と製造過程などを「上遠野紙製作用具」(いわき市指定有形民俗文化財)などをおして解説した。
関連事業
a 「遠野和紙あかり展ツアー」 9月28日(日)10時～15時 8人 高嶋祥太氏(遠野和紙制作者)の指導で手漉き和紙を製作し、遠野町で行われた「遠野和紙あかり展」を鑑賞した。
b 「大人の書道教室～遠野和紙に文字を書く～」 11月2日(日)13時～15時 8人 小堀玄幽氏(泰書會正師範)の指導で、基本の手ほどきを受けてから遠野和紙に清書した。
c ギャラリートーク 9月14日(日)、10月12日(日)、11月9日(日)、12月14日(日)、1月12日(月祝)いずれも14時～14時30分 計31人

(ウ) 第3回企画展「なこそこの関と文学」
2月7日(土)～3月31日(火) 1,218人 歌枕として名高い「なこそこの関」にまつわる文学作品と、ゆかりの文学者たちを紹介した。
関連事業 a 「俳句入門」 2月7日(土)、3月7日(土)いずれも13時～15時 計32人 池部月女氏(月俳句会主宰、川部俳句会指導、俳人協会会員)を講師に迎え、俳句初心者に向けた連続講座を開催した。 b ギャラリートーク 2月8日(日)、3月8日(日)いずれも14時～14時30分 計4人
(エ) ポイント展示「風船爆弾と勿来」
6月1日(日)～3月31日(火) 戦後80年の節目に合わせ、戦時中、勿来町にあった風船爆弾基地や風船爆弾に関する資料を第1常設展示室で紹介した。

ウ 体験学習事業

前年度に引き続き「いわきあるき2025 勿来関の文学・歴史・自然さんぽ」は、4月と11月に計3回実施した。参加者からは「満開の桜を見ながら植物について詳しい解説を聞けて楽しかった」「公園内に中世の遺跡があるとは知らなかったので、実際に見られてよかった」など大変好評を博した。

恒例となった「吹風殿寄席」は、日本の伝統芸能である落語を平安時代の邸宅を模した吹風殿で聴講するという趣向もあって、参加者に大変好評だった。

クラフト教室は、外部講師を迎えて2回開催した。夏休みに開催した「遠野和紙の紙すき体験！」では、遠野和紙制作者の指導によりはがきサイズの遠野和紙の紙漉き体験を行ったほか、講師から筆ペン習字の手ほどきを受け、遠野和紙製のはがきに手紙をしたためた。冬休みに開催した「宿題の書初めを練習しよう！」では、いわき市ゆかりの書道家の指導により楽しみながら書初めをした。専門家の指導により内容が充実し、好評の声が多かった。

(ア) いわきあるき2025 勿来関の文学・歴史・自然さんぽ(全4回) (共催 一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー 連携 いわき市考古資料館・いわき海浜自然の家)
4月8日(火)10時～13時、5月10日(土)(中止)、11月8日(土)、同29日(土)いずれも10時～12時 計29人 第1回は、いわき海浜自然の家指導員をネイチャーガイドに迎え、桜が満開の勿来の関公園を散策した。第2回は雨天により中止。第3回は、いわき市考古資料館長を講師に迎え、磐城平城跡や磐城平城しろあと公園周辺を歩きながら、いわきの歴史や城下町についての解説を受けた。第4回は、山川千博氏(窪田町商店会理事)による勿来の関公園周辺の城館遺跡案内と、ネイチャーガイドの解説を受けながら散策した。
(イ) 吹風殿寄席
4月29日(火)祝14時～15時30分 55人 いわき市在住落語家の山椒家小粒氏、武相亭八木助氏、紫蘇亭小夏氏による寄席を開催した。
(ウ) 夏休みクラフト教室「遠野和紙の紙すき体験！」
7月26日(土)10時～11時30分・13時30分～15時 計30人 高嶋祥太氏(遠野和紙製作者・書道家)を講師に迎え、自分で紙を漉いてはがきを作った。さらに、同氏から筆ペン書道の手ほどきを受けた。
(エ) 冬休みクラフト教室「宿題の書初めを練習しよう！」
1月4日(日)13時～15時 9人 小堀玄幽氏(泰書會正師範)を講師に迎え、小・中学生に書初めを指導した。

エ 調査研究事業

期 間	内 容
5月～8月	遠野和紙に関して、遠野地区で遠野町地域づくり振興協議会所蔵の遠野和紙製作用具を調査した。また、いわき総合図書館で資料調査をした。
8月	清光堂書店に関して、明治から昭和初期にかけて現在のいわき市平で書店を営んでいた関内家の子孫から残されている家族写真を預かり、調査した。
10月24日(金)～同26日(日)	令和8年度企画展「奥州三古関」に関して、鼠ヶ関について鶴岡市及び山形市で調査した。
11月22日(土)	風船爆弾に係る調査として、一宮町中央公民館で行われた講演会「風船爆弾とは何だったのかーその狙いと作戦の実態ー」を聴講した。

期 間	内 容
12月～2月	令和8年度企画展「清光堂書店」に関して、当館所蔵の清光堂関係資料を調査した。
1月8日(木)	当館所蔵の掛軸を貸出した茨城県立歴史館の企画展「博物館でツーリズム!!—江戸時代の旅日記をたどる—」を見学した。
2月25日(水)	先進施設の調査、古典文学の研究のため世田谷文学館の開館30周年記念「ドナルド・キーン展」を見学した。

オ 市民ギャラリー展示 ()内は主催者 観覧者数は休憩所利用者を含む

市民ギャラリーの利用は計11回あり、うち5回は今回初めて利用する団体・個人だった。その内訳は、いわき市立内郷公民館を拠点に活動する切り絵愛好会による作品展、いわき市出身の万華鏡作家赤津純子氏によるパネル展、第2回企画展「遠野和紙～受け継がれる伝統～」と関連して、久之浜絵手紙教室、入遠野公民館、おおきな傘で活動する皆さんの遠野和紙を使った絵手紙作品展、いわき市立勿来公民館と北茨城市関南町公民館で活動する色鉛筆画サークルの合同作品展、創作折り紙作家の近山由美子氏の折り紙作品展で、中でも近山氏の折り紙作品展は技巧を凝らした作品を観賞するため数多くの観覧者が訪れた。

(ア) 勿来の関歌会入選作品 (勿来ひと・まち未来会議、当館協力)
4月1日(火)～3月31日(火) 計3,476人 第38回勿来の関歌会入選作品を展示した。
(イ) 俳句作品展 (月俳句会、川部俳句会)
4月1日(火)～同30日(水) 計768人 いわき市内を拠点に活動する俳句会が合同で作品を展示した。
(ロ) 切り絵作品展 (内郷切り絵愛好会)
5月1日(木)～同31日(土) 計230人 いわき市立内郷公民館を拠点に活動する切り絵愛好会による作品を展示した。
(ハ) 万華鏡パネル展 (赤津純子)
7月17日(木)～同30日(水) 計120人 いわき市出身の万華鏡作家赤津純子氏による万華鏡作品のパネルを展示した。
(ニ) 原爆と人間展 (いわき市)
8月1日(金)～同17日(日) 計139人 写真パネル等を通して、原爆の悲惨さと核廃絶の取り組み等を紹介した。
(ホ) 遠野和紙に絵手紙を書く (渡辺政子、当館共催)
9月14日(日)～10月18日(土) 計194人 久之浜絵手紙教室、入遠野公民館、おおきな傘で活動する皆さんの遠野和紙を使った絵手紙作品を展示した。
(ヘ) 短歌作品展 (勿来短歌を楽しむ会)
10月19日(日)～11月15日(土) 計238人 勿来地区で活動する短歌会による作品を展示した。
(ト) 色鉛筆画サークル合同作品展 (いわき市立勿来公民館、当館後援)
11月16日(日)～同29日(土) 計295人 いわき市立勿来公民館と北茨城市関南町公民館で活動する色鉛筆画サークルの作品を展示した。
(チ) ことほぎ金澤裕子作品展 (金澤裕子)
12月2日(火)～同31日(水) 計248人 勿来町出身のアーティスト金澤裕子氏による浜通りの風景を描いたアクリル画や、いわきFCのキャラクターが登場する「はまどおりかるた」を展示した。
(リ) 鶴の華コレクション作品展 (近山由美子)
1月4日(日)～3月15日(日) 計670人 お茶の水おりがみ会館やいわき市内で折り紙教室を開催している、創作折り紙作家の近山由美子氏の作品を展示した。
(ル) 勿来八景フォトコンテスト (いわき市南部地区中心市街地活性化協議会、当館後援)
3月20日(金)～同31日(火) 計136人 第16回勿来八景フォトコンテスト入賞作品を展示した。

カ レファレンス対応

㉞ 資料調査 2件

月 日	依 頼 者	内 容
6月11日(水)	茨城県立歴史館	企画展「博物館でツーリズム!!—江戸時代の旅日記をたどる—」の展示に向けた事前調査。 立原杏所「勿来山海臨眺」、村田東圃「勿来関之図」
7月20日(日)	茨城キリスト教大学	小学校の社会科の授業で地域の歴史を取り上げるため、勿来町に放球基地があった風船爆弾について資料と情報を提供。

㉟ 資料貸出 6件

貸出月日	返却月日	貸 出 先	内 容
5月4日(日)	8月18日(月)	いわき市暮らしの伝承郷	第1回企画展「いわきの民話と伝承文学」展示 草野心平書拓本1点、パネル1枚
5月24日(土)	画像データ提供	個人	福島民報「ふくしま人」欄、田部君子紹介「田部君子—清きほこりを高くかかぐる—」展チラシデータ1点
6月24日(火)	画像データ提供	一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー	イオンモールプロジェクトマップ利用 館内写真データ2点
10月8日(水)	2月23日(月) (祝)	いわき市暮らしの伝承郷	第2回企画展「漁業と浜の暮らし」展示 磐城七浜捕鯨絵巻(浜の巻)1点(複製)、パネル10枚、画像データ2点、勿来櫻慈等身大パネル1体
11月1日(土)	画像データ提供	個人	『磐城九代記』翻刻本出版 『磐城九代記并平歳代記』菅波村山名太郎兵衛写本1点
11月20日(木)	2月10日(火)	茨城県立博物館	企画展「博物館でツーリズム!!—江戸時代の旅日記をたどる—」展示 立原杏所「勿来山海臨眺」、村田東圃「勿来関之図」

㊱ 問い合わせ対応 2件

キ 連携事業

㉞ 指定管理施設との連携
当財団指定管理施設と連携し、2事業を実施した。詳細は3-(4)-ア、イのとおり。
㉟ 地域との連携 ()内は主催団体
a 色鉛筆サークル合同作品展(後援)(いわき市立勿来公民館) いわき市立勿来公民館と北茨城市関南町公民館で活動する色鉛筆画サークルの作品を展示した。
b 第16回勿来八景フォトコンテスト(後援)(いわき市南部地区中心市街地活性化協議会) 当館館長が審査員を務め、入賞作品の展示会場として市民ギャラリーを提供した。
c 第39回勿来の関歌会(協力)(勿来ひと・まち未来会議) 当館館長が審査員を務め、入賞作品の展示会場として令和8年度に市民ギャラリーを提供することを予定している。

ク 自主事業(出前講座)

勿来関や文学などについて理解を深める機会を提供した。2団体、計39人が受講した。詳細は3-(4)-ウのとおり。

ケ 事業懇談会

日 時	出席委員数	議 題
第1回事業懇談会 7月15日(火) 10時～11時	5人	令和6年度事業報告について 令和7年度経過報告(4～6月)について その他
第2回事業懇談会 3月16日(月) 10時～11時	7人	令和7年度経過報告(7月～2月)について 令和8年度事業計画(案)について その他

(4) いわき市アンモナイトセンター

いわき市大久町大久字鶴房147番地の2 平成4年11月19日開館
委託者及び指定管理期間 いわき市 令和6年4月1日～令和11年3月31日

令和7年度の利用者は14,519人で、前年度比3,303人の増加となった。利用者が増加した要因としては、前年度に減らした体験発掘の定員を元に戻したことが挙げられる。

ア 常設展示事業(団体入館)

学校や各種団体等の要請により展示内容を解説し、化石密集層の地質学的意義についてわかりやすく紹介した。次のように7団体、計125人が利用した。

月 日	団 体 名	利用者数
6月24日(火)	白河市中心公民館	24人
8月23日(土)	いわき海の俳句全国大会見学会	17人
10月1日(水)	小野町立小野小学校 6年生	28人
11月9日(日)	天栄村国際交流協会	20人
11月26日(水)	高萩市職員退職者の会	15人
11月30日(日)	石川町立歴史民俗資料館	18人
12月18日(木)	東京文化財研究所	3人

イ 企画展示事業

小・中学校の長期休暇にあわせて、企画展を2回実施した。両企画展ともに会期中のミニ発掘や化石クイズを目的に来館する利用者が見受けられ、体験発掘非実施日の利用者数増に貢献した。

(ア) 夏の企画展「いわきの中生代～玉山層の時代」
7月12日(土)～8月31日(日) 2,572人 近年、玉山層から産出する化石について、クビナガリュウ以外の化石についても知見が広がってきたことから、最新の研究成果を紹介し、玉山層の古生物相やその意義について解説した。
関連事業
a ミニ発掘「水晶ジオードを発掘しよう！」 7月15日(火)～8月29日(金)9時30分～11時30分、14時～16時 99人 企画展会期中の平日に、天然の石の中から実物の水晶を取り出すミニ発掘体験を実施した。
b クイズチャレンジ！ 7月12日(土)～8月31日(日) 1,304人 企画展の展示解説からクイズを出題し、全問正解者には化石(サメの歯)をプレゼントした。
(イ) 冬の企画展「アンモナイトセンター今年の化石」
12月20日(土)～1月12日(月)祝 1,066人 当館には後期白亜紀コニアシアンの地層が露出している。毎週土・日曜日の化石の体験発掘において、なかには古生物学的に重要な標本が産出することもある。本展では、令和7年度に産出した重要標本を展示・紹介し、古生物学的視点から解説した。
関連事業
a ミニ発掘「水晶ジオードを発掘しよう！」 12月23日(火)～1月9日(金)9時30分～11時30分、14時～16時 計46人 企画展会期中の平日に、天然石の中から実物の水晶を取り出すミニ発掘体験を実施した。
b クイズチャレンジ！ 12月20日(土)～1月12日(月)祝 計524人 企画展の展示解説からクイズを出題し、全問正解者には化石(サメの歯)をプレゼントした。

ウ 体験学習事業

一般体験発掘及び特別体験発掘の参加者は10,486人（前年度比167.6%）で、前述の要因により前年度の6,257人から大幅に増加した。小・中学校を中心とした特別体験発掘に関しては参加団体数延べ38団体（前年度比140.7%）、参加人数1,148人（前年度比143.3%）と個人向けの一般体験発掘と同様に前年度から増加した。利用団体の内訳を見ると、市内からの利用は小・中学校が7校、高校が1校のほか市内の公共団体が3団体と全体の3割弱（28.9%）となり、前年度に比べ団体数、割合とも増加した。また、県内や関東圏の中学校・高等学校の利用や、大学・博物館などの高等教育機関、産業技術総合研究所地質調査総合センターの社会人研修での利用など研究機関の利用が見られた。

親子自然探訪教室では、祝日となる月曜日を主体に全6回、地質学や古生物学に限定しない自然科学分野の多様なテーマを設定し、野外での体験を軸としたアクティブラーニングプログラムを提供した。参加者数は開催テーマや、年度によるばらつきが有るものの、開催内容については概ね好評であった。

ア) 一般体験発掘		
4月～3月の毎土・日曜日、5月5日(月)祝、同6日(火)休10時～11時30分・13時30分～15時 定員各回200人 [4月26日(土)、同27日(日)、5月3日(土)～同6日(火)は10時～11時15分・12時30分～13時45分、14時30分～15時45分の3回実施]		計190回 計9,338人
イ) 特別体験発掘 延べ38団体計1,148人		
4月12日(土)	放課後等デイサービスコーシュリー	11人
4月18日(金)	私立茨城中学校 2年生	153人
4月25日(金)	いわき市立久之浜第二小学校 4・6年生	9人
5月2日(金)	いわき市立草野小学校 5年生	84人
5月16日(金)	産業技術総合研究所地質調査総合センター	8人
5月29日(木)	三春町立御木沢小学校 4年生	30人
6月15日(日)	白河市中央公民館	29人
7月1日(火)	福島県立いわき光洋高等学校 2年生	44人
7月8日(火)	福島県立ふたば未来学園中学校 2年生	5人
7月11日(金)	郡山市立高瀬小学校 5年生	49人
7月23日(水)	埼玉県立伊奈学園総合高校 1年生	36人
7月24日(木)	市川学園地学部 中2・3年生 高2年生	13人
8月7日(木)	キンダーワールドナーサリー育脳学童クラブ	31人
8月8日(金)	ヴィクトリアナーサリー育脳学童クラブ	43人
8月11日(月)	小川理科研究所	11人
8月21日(木)	理科実験教室キッズアース	30人
	新宿区立教育センター	13人
9月17日(水)	広野町立広野中学校 1年生	3人
9月19日(金)	いわき市立小玉小学校 3・4年生	48人
	いわき市立湯本第三小学校 5年生	41人
9月30日(火)	小野町立小野小学校 6年生	30人
10月2日(木)	小野町立小野小学校 6年生	28人
10月9日(木)	神奈川県立横浜旭陵高校 2年生	68人
10月10日(金)	産業技術総合研究所地質調査総合センター	8人
10月13日(月)祝	神永大輔と巡るいわき化石掘り体験ツアー	15人
10月30日(木)	福島県立いわき支援学校中学部 2年生	38人
10月31日(金)	いわき市立勿来第二小学校 5年生	30人
11月1日(土)	いわき市青少年育成市民会議平地区推進協議会中央台支部	7人
11月14日(金)	いわき市立久之浜第一小学校 6年生	23人
11月16日(日)	福島県いわき海浜自然の家「ふれあいオータムキャンプ」	48人
11月24日(月)休	社会福祉法人恵泉福祉会志津光の子児童センター①	19人
	社会福祉法人恵泉福祉会志津光の子児童センター②	19人
12月2日(火)	新潟大学理学部 B3、M1	15人

(イ) 特別体験発掘		
12月2日(火)	川内村立川内小中学園 6年生	10人
12月9日(火)	福島県立ふたば未来学園中学校 1年生	17人
1月14日(水)	広野町立広野中学校 1年生	50人
1月23日(金)	矢吹町立三神小学校 6年生	22人
3月27日(金)	NPO法人キズナベース	10人
(ウ) 親子自然探訪教室		
a 第1回「川原の石を調べよう！」4月29日(火)祝10時～13時 19人 いわき市考古資料館研究員を講師として、大久川上流の川原で転石を採集し、岩石の同定作業を行った。さらに、岩石のでき方や種類の講義の中で、過去の人類がこれらの岩石をどのように用いていたのかを、市内出土の縄文時代の石器を実見しながら説明した。		
b 第2回「昆虫採集に出かけよう！」7月21日(月)祝10時～13時 47人 草野秀雄氏・津崎順氏(いわき市環境アドバイザー)を講師に迎え、ワンダーファーム周辺で昆虫採集をした。		
c 第3回「秋の星座を見つけよう！」9月27日(土)18時～20時30分 6人 桂伸夫氏(いわき市環境アドバイザー)を講師に迎え、いわき天文同好会の会員方の協力のもと、アンモナイトセンター駐車場において天体観測を行った。		
d 第4回「陶芸に挑戦しよう！」11月3日(月)祝10時～13時 20人 新谷辰夫氏を講師に迎え、新谷窯の庭先において作陶を行った。		
e 第5回「冬の野鳥を見に行こう！」1月12日(月)祝10時～13時 9人 立花博氏(日本野鳥の会いわき支部)他を講師に迎え、夏井川サイクリング公園周辺において野鳥の観察を行った。		
f 第6回「電池の仕組みを知ろう！」2月11日(水)祝10時～13時 5人 古河電池株式会社協力のもと、電池の構造や社会的役割について工作等を通じて学習した。		

エ 化石講演会・その他の事業

(ア) 講演会「双葉層群の化石研究2025」	
12月16日(火)13時30分～15時 59人	猪瀬弘瑛氏(福島県立博物館主任学芸員)を講師に迎え、久之浜中学校体育館において双葉層群の最新の研究成果について講演いただいた。
(イ) 化石発掘イベント	
「化石の名前を決めよう!!」2月23日(月)祝10時～15時 11人 参加者が、自ら発掘した化石の名前を調べる同定作業を行った。	

オ 調査研究事業

期 間	内 容
4月～3月	アンモナイトセンターから産出した脊椎動物化石について、筑波大学と共同研究を行った。
4月～3月	四倉町八茎に分布する古生層について、筑波大学と共同研究を行った。

カ 指定管理施設との連携

当財団指定管理施設と連携し、2事業を実施した。詳細は3-(4)-イのとおり。

キ 自主事業

(ア) 出前講座	
いわきの古生代や恐竜時代に関する講座を実施した。延べ7団体、計184人が受講した。詳細は3-(4)-ウのとおり。	
(イ) 月刊アンモナイト通信の刊行	
第7巻4号～第8巻3号 当館体験発掘事業で発掘された化石の紹介、各種事業の報告や予定等をまとめた「月刊アンモナイト通信」を月1回刊行し、ホームページに掲載するなど周知を図った。	

ク 運営委員会

日 時	出席委員数	議 題
第1回運営委員会 6月27日(金) 10時～11時	9人	令和6年度の事業報告 令和7年度4月～5月期の事業報告 令和7年度6月期以降の事業計画
第2回運営委員会 2月6日(金) 10時～10時30分	8人	令和7年度6月～1月の事業報告 令和7年度2月～3月の事業計画 令和8年度の事業計画

(5) いわき市考古資料館

いわき市常磐藤原町手這50番地の1 平成9年12月1日開館
委託者及び指定管理期間 いわき市 令和6年4月1日～令和11年3月31日

令和7年度の利用者は7,394人で、前年度比1,386人の増加となった。利用者が増加した要因としては、出前講座の依頼が増加したこと、7月からの企画展の年間テーマが江戸時代の城郭と、考古学関係者だけでなく広く市民の注目を集める内容だったことが考えられる。

令和7年度も、これまでの経験と実績を生かした事業を展開した。主に企画展、講座・講演会、体験学習会を継続したが、いわき市内の遺跡とその発掘調査の成果をもとに地域の歴史と魅力を紹介することを目標とした。

企画展では、年間テーマに「江戸時代」を取り上げ、最新の発掘成果を取り入れた展示会を企画し、その内容に沿った解説会、講演会を実施してより深い理解につなげた。

小学校の校外学習等をはじめとする児童、生徒等の団体利用に際しては、わかりやすい展示解説に務め、まが玉づくりや土器・土偶・埴輪づくりなどの体験学習に際しては、市内の出土品の見学とあわせて歴史への関心を深める機会とした。さらに、積極的に出前講座を受けることも心がけた。

ア 常設展示事業（団体入館）

学校・公民館・支所・各種団体への展示解説及びまが玉づくりなどの体験指導を実施した。いわき市内から出土した土器・石器などを実見し触れるなかで、様々なものづくりを体験しながらいわきの歴史の一端を伝えた。次のように47団体、計1,039人が利用した。

利用者の新たな特徴として、高齢者施設や放課後等デイサービスの利用増があげられ、施設の立地や施設環境が影響しているものと考えられる。

利用者からは、「昔々の生活にふれてとても良かったです」「いわき市の知らないことが知れて感動しました」「さまざまな作品を見て、深く心に語りかけられた気持ち。言葉では語れないほどよかったです」という感想が寄せられたことから、引き続き丁寧な展示と解説とともに展示内容の更新に努めたい。

月 日	団 体 名	内 容	利用者数
4月25日(金)	いわき市立磐崎小学校 5年生	見学、まが玉づくり	80人
	いわき市立高坂小学校 6年生	見学、まが玉づくり	69人
	いわき市立藤原小学校 5・6年生	見学、まが玉づくり	49人
4月28日(日)	いわき市立中央台南小学校 6年生	見学、まが玉づくり	35人
5月9日(金)	いわき市立湯本第一小学校 6年生	見学、まが玉づくり	71人
5月10日(土)	のびっこらんど悠悠	土器・土偶・はにわづくり	13人
	だいせんデイサービス	見学	5人
5月14日(水)	みちのくの遺跡を訪ねて	見学	19人
5月30日(金)	だいせんデイサービス	見学	6人
6月5日(木)	アルテマイスター保志	見学、まが玉づくり	38人
6月7日(土)	福島大学	見学	9人
6月24日(火)	白河中央公民館	見学	25人
6月25日(水)	だいせんデイサービス	見学	8人
7月4日(金)	本宮市立和田小学校 5・6年生	見学、まが玉づくり	25人

月 日	団 体 名	内 容	利用者数
7月5日(出)	田村市立中央公民館「栄町幸せのつどい」	見学、まが玉づくり	12人
7月8日(火)	だいせんデイサービス	見学	8人
7月9日(水)	いわき市立平第一小学校 6年生	見学、まが玉づくり	65人
7月11日(金)	いわき市立田人小学校 1～4年生	見学、まが玉づくり	18人
7月18日(金)	だいせんデイサービス	見学	7人
7月28日(月)	だいせんデイサービス	見学	8人
7月29日(火)	アトリエハウス児童クラブ	見学、土器・土偶・はにわづくり	60人
8月12日(火)	放課後等デイサービスアイリス	見学、まが玉づくり	11人
8月20日(水)	放課後等デイサービスプラムしあわせ	土器・土偶・はにわづくり	10人
8月25日(月)	国立歴史民俗博物館	見学	22人
8月26日(火)	なす風土記の丘資料館	見学	5人
9月5日(金)	いわき市立遠野小学校 5年生	見学、まが玉づくり	29人
9月13日(土)	学べるコムネット放課後等デイサービスらいむ	まが玉づくり	10人
9月24日(水)	だいせんデイサービス	見学	5人
9月26日(金)	いわき市立小名浜第一小学校 5年生	見学、まが玉づくり	54人
10月3日(金)	いわき市立磐崎公民館「磐崎女性セミナー」	見学、はにわづくり	14人
10月7日(火)	いわき市立中央台北小学校 5年生	見学、まが玉づくり	38人
10月17日(金)	福島県立小名浜海星高等学校	見学、まが玉づくり	13人
	いわきの歴史・文学再発見バスツアー①	見学	8人
10月18日(土)	学べるコムネット放課後等デイサービスらいむ	土器づくり	5人
	藤原ふれあいウォーキング	見学	40人
11月12日(水)	「なす香」視察研修 なす風土記の丘資料館	見学	20人
11月15日(土)	だいせんデイサービス	見学	10人
11月16日(日)	鹿又三区老人会	見学	28人
11月23日(日)	だいせんデイサービス	見学	8人
12月12日(金)	いわき市立高久公民館 「わくわくサロン高久」	まが玉づくり体験	16人
12月13日(土)	JTBツアー	見学	8人
12月15日(月)	だいせんデイサービス	見学	10人
1月7日(水)	学べるコムネット放課後等デイサービスらいむ	まが玉づくり体験	15人
1月12日(月)	だいせんデイサービス	見学	8人
1月13日(火)	だいせんデイサービス	見学	8人
1月14日(水)	だいせんデイサービス	見学	6人
2月12日(木)	だいせんデイサービス	見学	8人

イ 企画展示事業

企画展は、前年度の発掘調査等の報告、そして年間テーマに据えた江戸時代に関する2つの企画展を実施した。

「発掘速報展」は、市内の発掘調査の最新の成果を遺跡毎に紹介した。内容は、JRいわき駅周辺の再開発に伴う平城跡の発掘調査の成果が中心となり、市内平在住の利用者が興味深く観覧している姿も見受けられた。

江戸時代を主題にした「発掘！磐城平城 夏の陣―大館城から磐城平城―」「発掘！磐城平城 冬の陣―近代磐城平の夜明け―」は、平城跡の発掘調査の集大成として、本丸や田町曲輪、堀跡などの発掘調査で出土した中世から明治時代の陶磁器類を多数展示した。江戸時代の城郭に関心を寄せる市民は多く、検出遺構のパネルや陶磁器類を熱心に観覧する姿が多く見受けられた。

入館者からは、「発掘速報展は勉強になった。地域にふれるいい機会でした」「江戸時代に限らず、歴史遺物の発掘成果を楽しみにしています」「発掘磐城平城、大変興味深く見させていただきました。出土品から城での生活を思い起こさせてくれました」「磐城平藩について歴史的背景等をもっと知りたいと思いました」など好意的な感想が多数寄せられた。江戸時代の城郭の人気の高さがうかがえる結果となり、入館者の知的欲求に応えることができた企画展だった。

(ア) 第1回企画展「令和6年度発掘速報展」
4月19日(土)～6月29日(日) 1,239人 令和6年度に実施した試掘・確認調査や本発掘調査、報告書刊行の遺跡の成果や出土品を展観し、市民が郷土の歴史について理解を深めるきっかけとした。
関連事業 a 遺跡報告会 5月11日(日)13時30分～15時 26人 報告 当財団事務局調査係研究員 b 展示解説会 5月11日(日)15時～16時、6月15日(日)14時～15時 計31人
(イ) 第2回企画展「発掘！磐城平城 夏の陣 大館城から磐城平城へ」
7月12日(土)～11月16日(日) 2,556人 磐城平城本丸跡や田町曲輪の武家屋敷跡などの江戸時代の調査成果を中心に、新たに発見された戦国時代の成果もあわせて展観し、城跡の変化を通して戦国時代から江戸時代への移り変わりを辿った。また、発掘調査の記録写真を基に、解説ナレーション付の映像資料を作成し、ロビーで常時上映した。
関連事業 a 展示解説会 8月31日(日)、10月26日(日)いずれも14時～15時 計20人 b 講演会 9月28日(日)13時30分～15時 生涯学習プラザ 88人 「磐城平城の縄張りを考えるー絵図と発掘の資料からー」 講師 中井均氏(滋賀県立大学名誉教授) 磐城平城の縄張りについて、その構造を全国的な視野で解説し、さらに、残されている磐城平城の持つ意義を再評価した。
(ウ) 第3回企画展「発掘！磐城平城 冬の陣 近代磐城平の夜明け」
11月29日(土)～3月29日(日) 1,404人 磐城平城廃城後の現JRいわき駅周辺の調査成果をもとに、役場の開設や鉄道開通など近代化の波が押し寄せてきた磐城平の姿を出土品とともに紹介した。
関連事業 a 展示解説会 12月6日(土)、3月8日(日)いずれも14時～15時 計20人 b 講演会 2月22日(日)13時30分～15時 生涯学習プラザ 98人 「坂下事件前後の江戸政局と安藤信正」 講師 門馬健氏(東京大学大学院情報学環特任研究員) 坂下事件前後の公武合体や尊王攘夷などの複雑な国内情勢とそれに対処する幕政運営という双方の視点から解説、講演した。

ウ 講演会事業

企画展の年間テーマの内容に関連した講演会、講座、展示解説会を実施し、いわき市の歴史について地域や時代毎に理解を深めることを目指した。

「考古資料館講座」では、今年度は企画展に関連する遺跡や出土品について解説し、ボランティア会員の勧誘、活動の活発化を図るきっかけとした。

さらに自由研究、考古資料館寄席、生涯学習プラザとの連携事業など、様々な機会をとおして地域の歴史についての理解を深める機会を提供した。

(ア) 考古資料館講座(全3回)
6月1日(日)、9月7日(日)、12月14日(日)いずれも10時～11時30分 計28人 第1回は「近年の平城跡と城下周辺の発掘調査成果について」、第2回は「戦国時代の大館城から江戸時代の磐城平城について」、第3回は「江戸時代幕末～明治時代頃の磐城平の様相」と題し、企画展示に合わせた内容で、当館学芸員がこれまでに実施された発掘調査の成果を解説した後、展示室内で資料を観覧した。
(イ) 自由研究教室「古墳時代のハニワを学んでつくりよう」
7月27日(日)10時～11時30分 1人 小学生を対象に、古墳時代について解説した後、埴輪づくりを体験した。
(ウ) 考古資料館寄席
10月25日(土)14時～15時30分 43人 山椒家小粒氏、三階松小麻氏、武相亭八木助氏が、企画展の主題「磐城平城」にちなんだ落語を上演したほか、調査係研究員が発掘調査の経験談等を紹介し、笑いを交えながら考古学に親しむきっかけとした。

エ 体験学習事業

毎月土・日曜日や大型連休、夏・冬の長期休暇等にあわせて、体験学習会を実施した。いわき市内から出土した遺物について学びながら、当時の人々の暮らしに思いを馳せ、主に親子連れの参加者が楽しみながら考古学に親しむ機会とした。また、各事業の申込受付方法として新たにGoogleフォームを導入することで、参加者の利便性を高めた。

利用者からは、「子どもの希望で初めてのまが玉づくりに参加しましたが、それぞれ満足のいく作品ができました」「削るのが楽しかったです」「みがくとツルツルになるのが気持ちよかった」「楽しい夏休みの思い出になりました」「はにわ作りは思った以上に奥が深く面白かったです」「はじめてはにわをつくりました。ねんどをなんどもかさねてたいへんでしたが、楽しかったです。またきたいです」「酷暑で遊びが限られている中、なにか学びになる遊びをさせたいと思い参加しました。とても集中して取り組んでいる様子が見られました」といった感想が寄せられ、実際に体験して様々なことに気づき、古代への想像を巡らせたことがわかった。

ア) まが玉づくり、土器・土偶・はにわづくり、火おこし
4月6日(日)～3月28日(土)いずれも10時～12時 66回実施 計385人 毎月土、日曜日や祝日、市内小・中学校の長期休暇にあわせて開催した。 まが玉づくりに159人、土器・土偶・はにわづくりに221人、火おこしに5人が参加した。
イ) 考古資料館まつり
10月25日(土)10時～12時、14時～16時 168人 まが玉づくり、土器土偶はにわづくり、火おこし、弓矢体験を実施した。まが玉づくりでは、使用する滑石の色を3色(白・灰色・桃色)に増やすなど、通常の体験学習会との差別化を図った。また、敷地内でキッチンカーが出店し、参加者に食事の機会を提供した。

オ ボランティア育成事業

考古資料館ボランティア 登録者19人 活動実績 計21回 延べ73人

小学校の校外学習等の体験学習に考古資料館ボランティアが協力している。豊富な経験と臨機な対応により、円滑な事業の実施につながった。また、市を通して市内の中学生、高校生による青少年ボランティアに依頼、要請をしている。

カ レファレンス対応

いわき市内の遺跡から出土した資料の閲覧、貸出について、所管課と協議して対応したほか、いわきに関連する史実、資料等についての問い合わせに対応し、参考資料を紹介した。

ア) 資料調査 13件

月 日	依 頼 者	内 容
5月21日(水)	北茨城市歴史民俗資料館	令和7年度企画展の事前調査 八幡横穴群・餓鬼堂横穴群・白穴横穴群・泉町C遺跡・関根遺跡・番匠地遺跡・砂畑遺跡・伊賀屋敷遺跡(第2次)・応時遺跡・夏井廃寺跡・郡遺跡出土遺物計140点
7月2日(水)	じょーもびあ宮畑	令和7年度企画展の事前調査 番匠地遺跡縄文土器 鉢1点・深鉢3点・注口1点
7月22日(火)	個人	東日本の非鉄金属生産技術に関する調査研究 夏井廃寺出土埴塼・羽口・滓など非鉄金属生産関連遺物 番匠地遺跡出土埴塼・羽口・鋳型・滓など非鉄金属生産関連遺物
7月28日(月)～ 8月1日(金)	個人	学術論文執筆 連郷B遺跡縄文土器268点 作B遺跡縄文土器455点
8月16日(土)	個人	学術論文執筆 中倉B遺跡出土縄文土器9点 中ノ内遺跡出土縄文土器28点

月 日	依 頼 者	内 容
8月21日(木)	個人	科学研究費基板研究に伴う大木9式・10式土器と関連する資料の調査 連郷遺跡出土土器3点・浅鉢2点 愛谷遺跡出土土器183点・浅鉢1点 松ノ下遺跡8点
8月25日(月)	国立歴史民俗博物館	博物館への展示検討 上ノ原経塚軸木1点・経筒1点・鉄刀11点・鉄鏃6点・紙本朱書法華経38点
8月29日(金)	個人	縄文～古墳時代の玉類流通に関する研究 龍門寺遺跡・愛谷遺跡・大畑E遺跡・番匠地遺跡・上ノ内遺跡・相子島貝塚・綱取貝塚・作B遺跡・前上ノ山遺跡・久保ノ作10号石棺・中田横穴・平窪諸荷遺跡出土遺物計641点
9月26日(金)	個人	卒業論文執筆 餓鬼堂横穴群出土遺物
11月10日(月)	個人	卒業論文執筆 下平石遺跡・松ノ下遺跡・愛谷遺跡・上ノ内遺跡・連郷遺跡出土遺物計32点
1月19日(月)	個人	先史時代の日本列島におけるサメ利用の研究 寺脇貝塚・薄磯貝塚・上ノ内遺跡出土遺物計74点
2月26日(木)	福島県文化財センター白河館	令和8年度企画展展示 横山B遺跡・愛谷遺跡・作B遺跡・綱取貝塚・牛軛1号墳・神谷作101号墳・荒田目条里跡出土遺物計40点
3月4日(水)～ 同8日(日)	個人	学術論文執筆 作B遺跡出土縄文土器538点

(イ) 資料貸出・返却 10件

貸出月日	返却月日	貸 出 先	内 容
5月20日(火)	画像データ 提供	産経新聞	ニュースウェブサイト「産経ニュース」に掲載 荒田目条里遺跡出土木簡2点
5月30日(金)	9月25日(木)	北茨城市歴史民俗資料館	令和7年度企画展展示 八幡横穴群・餓鬼堂横穴群・白穴横穴群・泉町C遺跡・関根遺跡・番匠地遺跡・砂畑遺跡・伊賀屋敷遺跡(第2次)・応時遺跡・夏井廃寺跡・郡遺跡出土遺物計140点
7月2日(水)	12月4日(木)	じょーもぴあ宮畑	令和7年度企画展展示 番匠地遺跡出土縄文土器鉢1点・深鉢3点・注口土器1点
8月21日(木)	12月17日(水)	福島県立博物館	令和7年度企画展展示 八代義定旧蔵資料(浦尻貝塚・片寄貝塚出土遺物等)計49点
10月27日(月)	1月26日(月)	いわき市立いわき総合図書館	令和7年度後期企画展展示 平城跡本丸出土陶磁器類
11月7日(金)	2月15日(日)	いわき市暮らしの伝承郷	令和7年度第2回企画展展示 大畑貝塚出土遺物8点・薄磯貝塚出土遺物13点

貸出月日	返却月日	貸出先	内容
12月22日(月)	3月17日(火)	千葉県埋蔵文化財センター	令和7年度特別展展示 龍門寺遺跡出土独鈷石3点 桜町遺跡出土独鈷石1点
1月26日(月)	3月30日(月)	いわき市立 いわき総合図書館	令和7年度後期企画展展示 平城跡田町曲輪出土陶磁器類計38点
1月31日(土)	画像データ 提供	群馬県立歴史博物館	令和8年度春の特別展展示 夏井廃寺跡文字瓦画像2点・拓本画像2点 荒田目条里遺跡木簡図1点・拓本図1点
3月30日(月)	5月29日(金) 予定	いわき市立 いわき総合図書館	令和7年度後期企画展展示 平城跡(ラトブ地点)出土陶磁器類計48点

(ウ) 問い合わせ対応 9件

キ 連携事業

(ア) 指定管理施設との連携
当財団指定管理施設と連携し、9事業を実施した。詳細は3-(4)-ア、イのとおり。
(イ) 教育機関との連携
2校、計6人が職場体験に参加し、学芸員の仕事についての講義や、遺物の水洗実習を行った。 9月16日(火) いわき市立好間中学校3年生 2人 10月2日(木) いわき市立中央台南中学校3年生 4人
(ウ) いわき市教育委員会(文化振興課)との連携
a 「歴史講演会&まち歩き」 11月6日(木)9時30分～12時、同11日(火)9時45分～12時 計58人 当館職員が講師を務め、それぞれ平地区・勿来地区の歴史に焦点を当てた講演会とまち歩きを実施した。
b 中田横穴一般公開 11月16日(日)13時～15時 225人 国史跡「中田横穴」の一般公開にあわせて、当館職員が現地で解説した。
c いわき市文化財サポーター第2回ボランティア活動 2月10日(火) 5人 市が実施している事業の一環で、体験学習会参加者に配布している缶バッジ制作を体験した。

ク 自主事業(出前講座)

地域の歴史に関する講座やまが玉づくり等の体験学習指導を実施した。19団体、計688人が受講・体験した。詳細は3-(4)-ウのとおり。

ケ 事業懇談会

日時	出席委員数	議題
第1回事業懇談会 9月20日(土) 10時～11時30分	5人	令和6年度 事業報告について 令和7年度 経過報告について
第2回事業懇談会 3月14日(土) 10時～11時15分	4人	令和7年度 経過報告について 令和8年度 事業報告について

(6) 福島県いわき海浜自然の家

いわき市久之浜町田之網字向山53 平成8年7月20日開所
委託者及び指定管理期間 福島県 令和6年4月1日～令和11年3月31日

令和7年度の利用状況は、627団体、延べ利用者数44,525人で、団体数は、当財団が指定管理者となって以来最多となった。前年度との比較では、団体数で105.4%、延べ利用者数では98.4%となった。福島県への報告が求められているALPS処理水の海洋放出による体験活動への影響は、学校教育団体・社会教育団体とも認められなかった。

学校教育団体は、299団体、延べ26,197人の利用があり、当財団が指定管理者となって以来最多であつ

た。11月中旬まで続いた小学校の宿泊体験活動では、引率者アンケートによるとボディボードや磯遊びなどの、海浜活動のプログラムに対する満足度が特に高かった。また、小学校の利用が減少する10月以降は、幼稚園（保育園・保育所を含む）の利用団体数・人数が高い状態を維持している。

社会教育団体は、266団体、延べ12,469人の利用があった。公民館や地域の民間団体をはじめ、合唱・吹奏楽、各種スポーツなど部活動の合宿や、スポーツ少年団やクラブチームなどスポーツ団体等の利用が増加傾向にある。また、児童発達支援・放課後等デイサービスなどの民間団体が、当所のプログラムを体験させるため、土・日曜日を中心に定期的に利用していることも、近年の顕著な傾向として挙げられる。

さらに、県外の成人団体や市内の高齢者団体の利用も増加傾向にある。

ア 利用者受入

期 間	利用者数
4月1日(火)～3月31日(火)	627団体 延べ利用者数44,525人 学校教育団体 299団体26,197人（幼稚園等45団体1,397人、小学校228団体22,464人、中学校6団体910人、高等学校6団体710人、特別支援13団体626人、大学等1団体90人） 社会教育団体 266団体12,469人（少年190団体9,574人、青年18団体1,200人、一般成人18団体1,071人、高齢者40団体624人） ファミリー12団体107人、企画事業50回5,752人

イ 主催事業

主催事業について、「ミニ開放デー（自然の家であそんじゃお!）」「春・秋のオープンデー」「スポーツフェスティバル」「クラフトのつどい」は、参加人数の制限を設けず、オープン参加制で実施した。特に「春のオープンデー」は、雨天にもかかわらず、令和6年度の3,451人に次ぐ、1,723人の来場者があり、ポスター・チラシと複数のSNSを組み合わせた広報活動の成果が反映されたものと認識している。

その他の事業についても、申し込みにあたっては事業内容に応じ、電話やインターネットなど多様な方法を取り入れ利用者の利便性に配慮した。

また、2件の福島県委託事業を受託した。「未来キッズ生き生き事業」では、ボディボード、砂遊び、特定非営利活動法人いわきFスポーツクラブや外部講師の協力による運動・体操体験、ベビーヨガなどを実施し、運動不足の解消や体力向上を促進し、好評を博した。全6回で、第1・4・5回は主催事業との共催事業である。

「わくわく自然体験[心のケアが必要な子ども(不登校等)を対象とした自然体験事業]」では、福島県内の不登校傾向にある児童生徒を対象に、関係機関やスクールカウンセラーと連携を図りながら自然体験活動や交流体験の機会を提供した。全5回で、第1・3・5回については、いわき市総合教育センターの協力を得た。

ア) 立地条件を生かした自然に親しむ事業	
a	新緑の里山さんぽ～自然の家の冒険の森で春の息吹を感じよう～ 5月14日(水)9時45分～13時・11時45分～15時15分 計17人 中高年を対象に新緑の冒険の森第3コースを散策した。令和6年度の応募状況より、午前・午後の2部制で実施した。
b	遊ぼう！初夏の海で 5月18日(日)10時～14時 19人 小学生とその家族を対象に、初夏の舟戸海岸で釣りや磯遊びを楽しみながら、親子のふれあいを深めた。
c	ミニ企画事業「親子でじゃがいも収穫体験！」 6月15日(日)10時30分～11時30分 32人 未就学児から小学生の親子を対象に、じゃがいもの収穫体験を通して自然と触れ合う機会を創出した。実施にあたっては、環境支援ボランティアの協力を得た。
d	紅葉の里山さんぽ～自然の家の冒険の森で里山の秋を感じよう～ 11月8日(土)、同19日(水)いずれも10時～12時40分 計15人 親子と中高年を対象に、紅葉の当所の自然（冒険の森第2～第3コース）を散策した。
e	ミニ企画事業「親子でさつまいも収穫体験！」 11月9日(日)10時30分～11時30分 24人 未就学児から小学生の親子を対象に、さつまいもの収穫体験を通して自然と触れ合う機会を創出した。実施にあたっては、環境支援ボランティアの協力を得た。
f	早春の里山さんぽ～自然の家の冒険の森で里山の春を感じよう～ 3月25日(水)、同28日(土)いずれも10時～12時40分 計20人 親子と中高年を対象に、早春の当所の自然（冒険の森第2～第3コース）を散策した。

(イ) 地域の課題に対応した事業	
冬を楽しもう！ 1月25日(日)9時45分～14時 12家族45人 小学生とその家族を対象として開催した。参加者はクラフト体験や野外調理の共同作業をとおして、楽しく家族の親睦を深めた。	
(ウ) 現代的な課題に対応する事業	
a わくわく自然体験 [心のケアが必要な子ども(不登校等)を対象とした自然体験事業] 5月30日(金)9時30分～16時、9月13日(土)10時～15時、10月29日(水)10時～14時40分、11月8日(土)10時～15時、2月4日(水)10時～14時40分 計116人 不登校傾向にある児童生徒を対象に、野外炊飯、海岸清掃、冒険の森探索等の自然体験活動や、草木染め等のクラフト体験活動、サイエンスショーの観覧・実験や各種ニュースポーツを提供した。あわせて、福島県家庭教育支援チームによる保護者を対象とした教育相談を実施した。福島県教育委員会委託事業。	
b 未来キッズ生き生き事業 7月26日(土)10時～12時、8月9日(土)13時30分～15時30分、11月22日(土)10時～14時30分 計572人 子供たちにボディボードなどの海浜活動、レクリエーションや各種スポーツをとおして身体を動かす機会を提供した。全6回実施(うち第1・4・5回は当所主催事業と共催)。 福島県教育委員会委託事業。	
c スポーツフェスティバル(第4回未来キッズ生き生き事業) 10月5日(日)10時～14時30分 781人 子どもから大人まで一緒にさまざまなスポーツを楽しみながら、体力・運動能力の向上、心身のリフレッシュ及び健康増進を促した。また、地域団体やボランティアスタッフとの連携により、地域とのつながりを深め、施設運営の充実を図った。	
d 親子のつどい 12月14日(日)10時～14時30分 10家族35人 未就学児・小学生とその家族を対象として、クリスマスリース作りや、野外調理を行った。親子で季節にふさわしい活動、共同作業をとおして家族の親睦を深めた。	
(エ) 指導者の資質を高める事業	
a 学校団体指導者事前研修会 4月17日(木)、同24日(木)、5月1日(木)、8月19日(火)いずれも9時30分～16時 計227人(225校) 令和7年度に宿泊活動で当所を利用する学校教育団体の指導者向けに、活動計画の立案や活動方法についての事前研修会と団体間の活動プログラム内容の調整を行った。	
b 活動プログラム研修会 5月16日(金)9時15分～14時30分 26人(18団体) 令和7年度に当所を利用する社会教育団体を対象に、施設見学・プログラムの実技研修等をとおして、自主的な活動の進め方や活動計画作成に理解を深め、円滑な活動ができるよう助言や指導を行った。	
c ボランティア養成講座 4月27日(日)、7月13日(日)、9月28日(日)、12月21日(日)いずれも9時30分～14時30分 計45人 自然体験活動を支援するために必要な知識と技能を習得するとともに、ボランティアスタッフとしての資質向上を図った。	
(オ) 教育効果を検証する事業	
a ふれあいサマーキャンプ 8月2日(土)～同3日(日) 40人 県内の小学校4～6年生を対象に、いかだ乗りやボディボード、野外炊飯、トレジャーハント、テント宿泊等を体験し、自然体験活動をとおして自然や人とふれあう喜びを体得するとともに、協調性を身につけ、自立心を養った。また、参加後の子どもの変化について、保護者への事後アンケートを実施した。	
b ふれあいオータムキャンプ 11月15日(土)～同16日(日) 26人(連携 いわき市アンモナイトセンター) 県内の小学校4～6年生を対象として、交流ゲーム、ランタン作り、さつまいも収穫体験、野外炊飯、ナイトハイキングのほか、いわき市アンモナイトセンターで化石発掘体験を行い、自然体験活動をとおして自然や人とふれあう喜びを体得するとともに、協調性・社会性や自立心を養った。保護者へ参加後の子どもの変化について、事後アンケートを実施した結果「成長を感じた」「積極的になった」「進んで手伝いをするようになった」等の肯定的な回答が認められた。	
(カ) 地域住民や県民に対して自然の家の役割や意義を紹介する事業	
a 自然の家であそんじゃお！(ミニ開放デー) 4月20日(日)、同27日(日)、1月18日(日)、同24日(土)、2月22日(日)いずれも10時～14時、2月15日(日)17時30分～19時30分 計397人 当所の体育館とオリエンテーションホール、トリムランドを開放し、子どもたちの遊びの場を提供した。アスレチック遊具やニュースポーツ、オリエンテーリング、伝承遊びをとおして身体を動かす機会を設け、あわせて当所の理解と利用促進を図った。 2月15日(日)は、特別企画として「冬の星空観察会」をいわき天文同好会の協力により実施した。全6回実施。	

(カ) 地域住民や県民に対して自然の家の役割や意義を紹介する事業	
b	春のオープンデー（第1回未来キッズ生き生き事業） 5月25日(日)10時～15時 1,723人 施設を県民へ広く開放し、野外炊飯、マウンテンバイク、昔遊び、ニュースポーツ等の体験活動や、キーホルダー作り等のクラフト体験活動をとおして、当所への理解を深めた。
c	秋のオープンデー（第5回未来キッズ生き生き事業）10月26日(日)10時～15時 796人 施設を県民へ広く開放し、野外炊飯、段ボール迷路、エアートランポリン、ニュースポーツ等の体験活動や、クラフト体験活動（キーホルダー作り）をとおして、当所への理解を深めた。 雨天での開催となったが、チラシやポスターを浜通りの全児童数への配付やラジオ放送、SNSでの広報に努め、700人を超える参加者が来所した。
b	海浜ワークショップ 1月28日(木)10時～14時 16人 当所閑散期の新たな利用者層の掘り起こしを目的に、平日に成人を対象として他者との交流の場を提供した。パラコード・ウッドビーズ等を材料にハンドストラップを製作した。難しい内容であったが、丁寧な指導と詳細な手順資料を作成したことで、参加者全員が完成させることができた。
c	クラフトのつどい 2月8日(日)10時～14時30分 340人 一部のプログラムを除きオープン参加制で開催した。参加者はモザイクコースター・木彫るだー・ぷくぷくシール・アロマキャンドル作りなどの様々なクラフト体験を実施した。
d	森の音楽会 3月8日(日)13時～15時 140人 豊かな自然環境にある当所で、いわき市ゆかりの音楽家である常光今日子氏と津山博子氏のヴァイオリンとピアノの演奏を提供した。
e	環境ボランティア活動 4月27日(日)～3月14日(土)いずれも9時30分～14時30分 計8回延べ70人 当所内花壇・畑の環境整備およびミニ企画事業「親子でじゃがいも収穫体験！」「親子でさつまいも収穫体験！」への支援を実施した。

ウ 施設管理（環境ボランティア活動）

施設管理に関しては、引き続き当所の「庁舎等管理規程」「危機管理マニュアル」等に基づき、利用者が安全・安心に利用できるよう努めた。

放射線量の低減に伴い令和4年度より再整備に着手している「冒険の森」については、令和6年度に「第3コース」、令和7年度に「第2コース」の利用を再開し、引き続き「第1コース」の利用再開を目指し整備を継続している。

エ 連携事業

(ア) 指定管理施設との連携
当財団指定管理施設と連携し、3事業を実施した。詳細は3-(4)-イのとおり。
(イ) 自然の家との連携
郡山自然の家未来キッズ生き生き事業「第23回オープンデー」 9月28日(日)9時～16時 265人 県内の自然の家と連携し、当所の創作活動である貝殻ストラップづくりを行った。

オ 自主事業（出前講座）

公民館でクラフト体験を実施した。4団体、計95人が参加した。詳細は3-(4)-ウのとおり。

(7) いわき市生涯学習プラザ

いわき市平字一丁目1番地 平成14年4月16日開館

委託者及び指定管理期間 いわき市 令和7年4月1日～令和12年3月31日

令和7年度の利用者は75,579人で、前年度比1,176人の増加となった。コロナ禍が過ぎてから順調に利用者が増えている。利用内容については、会議室の利用が36,066人（前年度比2,552人減）、第21回生涯学習フェスティバルが4,235人（前年度比918人減）、第56回諸流いけばな展が363人（前年度比122人減）と減少したが、講座の参加者が220人増加したこと、ロビースペースの利用者（高校生利用）が3,474人と大きく増加したことにより、利用者増加となった。

ア 情報の積極的な収集・提供・発信

広報に関しては、年間事業案内、講座・イベントごとの詳細な案内チラシを市内公共施設や教育機

関等に配布したほか、ホームページやSNSなどで情報提供をした。また、利用者懇談会やアンケート調査でモニタリングを重ね、市民目線に立った効率的な管理運営に努めた。

(ア) 情報発信事業
毎月、開講座を広報いわきやホームページで案内するとともに、関係機関にチラシを配布した。また、SNS（X、Instagram、フェイスブック、LINE）を活用し、生涯学習情報の収集、提供を図り、事業案内や市民からの問い合わせに積極的に活用した。
(イ) いわきまなびあいバンク事業
市民講師、社会教育関係団体の情報データベースであるいわきまなびあいバンクの情報収集及び維持管理を行い、ホームページ上の情報を更新し、PDF版「いわきまなびあいバンク」を発行した。まなびあいバンクに登録する市民講師の新規募集及び現在登録情報を調査し、最新情報を提供した。
(ウ) 「プラザだより第79～81号」発行
各種講座の募集要項や実施事業の報告等を掲載し、市内公共施設に配布するとともにホームページでも公開し、情報をわかりやすく提供する手段として活用した。年3回発行。

イ 生涯学習に関する調査・分析事業

講座ごとに受講者アンケートを実施し、市民ニーズの調査・分析をもとに多様な講座を開催した。

ウ 生涯学習に関する人材育成事業

(ア) 公民館会計年度任用職員研修会
4月25日(金)9時～9時50分、13時～13時45分 12人 新たに公民館に勤務する職員に対して、公民館の基礎知識、講座づくりの解説をした。
(イ) スキルアップ講習会
3月17日(火)19時～20時30分 25人 ITリーダーの会員を対象に、中尾剛氏(医療創生大学情報ネットワーク研究室教授)から最新のITツールの知識や技術とティーチング方法を学んだ。

エ 生涯学習に関する総合的な窓口（レファレンス対応）

講師・サークルの紹介や、生涯学習に関する相談を電話・窓口・メールなどで受け付け、計46件の相談に対応した。

IT相談会
4月27日(日)～3月29日(日)14時～16時 全12回 計23人 毎月第4日曜日に、パソコン初心者・高齢者を対象としてインターネットやスマートフォンの操作などのITに関する相談・質問にボランティアスタッフが対応した。

オ 生涯学習に関する講座・講演会等の実施

市民講座は、高度で専門的な講座、地域的課題に関する講座、施設の機能を生かした講座、親子・異世代間交流に関する講座、初心者から上級者向けのパソコン講座など、現代の様々な課題に対応する主催講座を実施した。

また、プラザ利用の団体・サークルとの連携・協力による生涯学習活動の支援、市民の交流を深めることを目的としてボランティア活用事業を実施した。ITリーダーによるパソコン講座、子育て支援ボランティアによる幼児とその保護者向け講座及びサークル・団体が実施するサークル企画講座では、朗読教室、楽しい朗読等の講座を実施した。

プラザおはなし会、IT相談会、ふだん着のお茶会、第56回諸流いけばな展は、各団体の協力のもとで開催することができた。

全市的な事業として、広く市民に浸透している「いわきヒューマンカレッジ（市民大学）」は、「総合心理学部」「地域福祉学部」「SDGs探究学部」「いわき学部」の4学部を開設し、197人の入学者数となり、市民の学習ニーズにあった学部を開講した。入学式は、藁谷友紀新学長の講演「インフレをつくる～私たちの生活と経済～」を開催した。また、福島大学との連携・協力による特別講座を2回実施した。

第21回「生涯学習フェスティバル」は、幅広い年齢層を対象に、プラザ利用団体や関係機関の協力により様々な発表・展示・体験などをおこなった。今回は、地元小学校の合唱、高校の茶道部体験、歴史などの特別講座なども実施し、4,235人の来館者があり、多くの市民へ学習の場・交流の場を提供することができた。

「いわきヒューマンカレッジ（市民大学）」や「生涯学習フェスティバル」の実施にあたっては、「いわき市生涯学習支援ボランティアの会」の支援により円滑に運営することができた。

<p>ア) 生涯学習に関する全市的事業</p>
<p>a いわきヒューマンカレッジ（市民大学 支援 いわき市生涯学習支援ボランティアの会）</p> <p>(a) 第59回理事会 5月22日(木)13時30分～15時 18人 令和7年度いわきヒューマンカレッジ実施内容等について協議した。</p> <p>(b) 入学式・学長講演（会場 いわき市文化センター） 9月6日(土)13時～15時 194人 （ボランティア25人含む） 入学式と藁谷友紀新学長の「インフレをつくる～私たちの生活と経済～」と題した講演会を実施した。</p> <p>(c) 総合心理学部（会場 生涯学習プラザ） 9月20日(土)～11月8日(土)10時～12時 全7回 延べ517人(他ボランティア等関係者54人)受講登録101人 心理学の基礎から応用まで多様な視点から、暮らしに関わるさまざまな心理学の知見を学習した。</p> <p>(d) 地域福祉学部（会場 東日本国際大学） 9月13日(土)～11月8日(土)14時～16時 全7回 延べ93人(他ボランティア等関係者71人) 受講登録18人 超高齢化社会における地域福祉の現状と課題を知り、地域福祉のあるべき姿や取り組みについて学んだ。</p> <p>(e) SDGs 探究学部（会場 福島工業高等専門学校） 9月13日(土)～10月25日(土)14時～16時 全7回 延べ62人（他ボランティア等関係者71人） 受講登録26人 ロボット開発、まちづくり、水、防災・減災、再生可能エネルギーなどについて探究した。</p> <p>(f) いわき学部（会場 生涯学習プラザ） 9月12日(金)～10月24日(金)14時～16時 全7回 延べ292人(他ボランティア等関係者75人) 受講登録55人 太古の時代から原始、平安、近世、近現代、民俗など様々な角度から私たちが暮らしているいわきについての理解を深めた。</p> <p>(g) 史蹟探訪 9月28日(日) 31人(他ボランティア等関係者15人) 受講登録43人 馬目順一氏（福島県考古学会顧問）の解説により、宮城県南部の東北歴史博物館と国指定史跡大木冨貝塚を見学した。</p> <p>(h) 修了式（会場 いわき市文化センター） 12月6日(土)13時～14時55分 124人(ボランティア22名含む) 修了式及び各学部代表講師・神山常任理事による講演会を実施した。</p> <p>(i) 第60回理事会 2月6日(金)14時～14時30分 16人 令和7年度いわきヒューマンカレッジの実施状況について報告、協議した。</p>
<p>b ふだん着のお茶会 6月21日(土)、11月8日(土)10時～15時 全2回 計74人 一般社団法人茶道裏千家淡交会いわき支部と共催し、日本の伝統文化である茶の湯を体験した。</p>
<p>c 第56回諸流いけばな展 3月7日(土)～同8日(日) 計363人 いわき市華道連合会と共催し、6流派によるいけばな展を開催した。</p>
<p>d 福島大学・いわき市連携講座</p> <p>(a) 日本酒の香りの科学 12月20日(土)14時～16時 77人(ボランティア13人含む) 藤井力氏(福島大学教授)を講師に迎え、清酒や焼酎などの成分や由来について学んだ。</p> <p>(b) 果物と食と健康の科学 1月24日(土)14時～16時 69人(ボランティア13人含む) 升本早枝子氏(福島大学准教授)を講師に迎え、ポリフェノールなどの果物に多く含まれる機能性成分について学んだ。</p>
<p>e 第21回生涯学習フェスティバル 2月14日(土)、同15日(日)10時～15時 計4,235人（連携 当財団指定管理施設） プラザを利用する団体や関係機関の協力により、発表・展示・実演・体験等を行い、市民と交流を深めた。また、当財団指定管理施設と連携し、様々なものづくり体験や展示を実施した。</p>
<p>イ) 高度で専門的な講座 10講座 42回 延べ948人</p>
<p>a 福島の城跡について（教養充実講座Ⅰ）（連携 いわき市考古資料館） 6月8日(日)～8月3日(日)14時～15時30分 全5回 延べ249人 受講登録61人 檜村友延・高島好一・中山雅弘（当財団特任研究員）、鈴木功氏（白河市建設部）、佐藤真由美氏（二本松市教育委員会）を講師に迎え、市内3城跡と県内の国指定史跡白河、二本松の城跡について様々な角度から学んだ。</p>
<p>b はじめよう！Word（パソコン実用講座Ⅰ） 7月10日(木)～同31日(木)18時30分～20時30分 全4回 延べ46人 受講登録15人 Word初心者対象講座。文字のコピー・貼り付けなどの基礎的な操作や段落・フォントサイズの変更などを学び、表作成を行った。</p>

(イ) 高度で専門的な講座	
c	Wordステップアップ（パソコン実用講座Ⅱ） 9月4日（木）～同25日（木）18時30分～20時30分 全4回 延べ67人 受講登録18人 Word中級者対象講座。Wordを使った実用的な文書作成や図形作成、差し込み印刷など応用的なスキルを学んだ。
d	今日からはじめる「スマホ練習」講座（IT・情報講座） 10月8日（水）～11月12日（水）13時～15時 全4回 延べ62人 受講登録17人 スマホの初心者を対象に電話、検索、撮影の3つの基本動作を学んだ。
e	はじめよう！Excel（パソコン実用講座Ⅲ） 11月6日（木）～同27日（木）18時30分～20時30分 全4回 延べ79人 受講登録25人 Excel初心者対象講座。データ入力、編集やセルの入力方法などの基礎的な操作を理解し、表の作成からグラフ作成を学んだ。
f	江戸時代の芸能を考える（教養充実講座Ⅱ） 11月8日（土）～同29日（土）13時30分～15時 39人 全4回 延べ67人 受講登録22人 笠井哲氏（福島工業高等専門学校名誉教授）を講師に迎え、江戸時代に開花した武芸や歌舞伎の精神と魅力について理解を深めた。
g	磐城平城をさぐる（教養充実講座Ⅲ）（連携 いわき市考古資料館） 11月9日（日）～1月25日（日）14時～15時30分 全5回 延べ188人 受講登録50人 滝沢勇馬（当財団研究員）、松本庸器氏（市文化財保護審議会委員）、田仲桂氏（市文化財保護審議会委員）、小宅幸一氏〔地域歴史（近・現代）研究者〕を講師に迎え、磐城平藩や磐城平城について体系的に様々な角度から学んだ。
h	俳句講座（教養充実講座Ⅳ） 11月16日（日）10時～2月22日（日）11時30分 全4回 延べ43人 受講登録13人 猪狩行々子氏（いわき市俳句連盟副会長）を講師に迎え、はじめての人を対象に俳句を楽しんだ。
i	Excelステップアップ！（パソコン実用講座Ⅳ） 2月5日（木）～同26日（木）18時30分～20時30分 全4回 延べ48人 受講登録15人 パソコン経験者を対象に、Excelの実用的な方法を学んだ。
j	Excel上級講座（パソコン実用講座Ⅴ） 3月5日（木）～同26日（木）18時30分～20時30分 全4回 延べ99人 受講登録29人 Excel上級者対象講座。Excelを使った高度な文書作成を学んだ。
(ウ) 地域的課題に関する講座 8講座 23回 延べ361人	
a	英会話講座（初級編）（語学講座Ⅰ） 6月13日（金）～7月17日（木）18時30分～20時30分 全6回 延べ127人 受講登録25人 ジャレット・ウォン氏（いわき市外国語指導助手）を講師に迎え、簡単な英会話のコミュニケーションを体感し、国際理解を深めた。講師都合により、最終日は前日に変更になった。
b	初心者向け資産形成講座1（スマートライフ講座） 6月14日（土）13時～14時30分 10人 受講登録11人 株式会社みずほ銀行職員を講師に迎え、NISAやiDeCoなどの資産形成・資産運用について学んだ。
c	初心者向け資産形成講座2（スマートライフ講座） 7月5日（土）13時～14時30分 16人 受講登録19人 株式会社みずほ銀行職員を講師に迎え、NISAやiDeCo、外貨活用などのリスクについて学んだ。
d	英会話講座2（中級編）（語学講座Ⅱ） 9月19日（金）～10月30日（木）18時30分～20時30分 全6回 延べ96人 受講登録25人 イサベラ・マリヤ氏（いわき市外国語指導助手）を講師に迎え、より高度な英会話のコミュニケーション方法を学んだ。
e	まちづくり講座（環境・まちづくり講座Ⅰ） 10月5日（日）～11月2日（日）14時～15時30分 全4回 延べ37人 受講登録12人 齊藤充弘氏（福島工業高等専門学校教授）を講師に迎え、様々な統計や都市計画マスタープランを題材として、いわき市の取り組みを学び、これからのまちづくりについて考えた。
f	初心者向け資産形成講座3（スマートライフ講座） 2月28日（土）14時～15時30分 17人 受講登録19人 株式会社みずほ銀行社員を講師に迎え、年金やNISAなどの資産形成・資産運用について学んだ。

(ウ) 地域的課題に関する講座	
g	防災講座（環境・まちづくり講座Ⅱ） 2月7日(土)、同21日(土)14時～15時30分、同28日(土)10時～11時30分 全3回 延べ28人 受講登録15人 菊地卓郎氏（福島工業高等専門学校教授）を講師に迎え、いわきで起きた災害史やハザードマップの活用方法、日頃の備えの大切さを学んだ。
h	初心者向け資産形成講座4（スマートライフ講座） 3月22日(日)10時～11時30分 30人 受講登録38人 株式会社みずほ銀行社員を講師に迎え、外貨建保険などの外貨活用の資産運用、リスクについて学んだ。
(エ) 施設の機能等を活かした講座 22講座 53回 延べ720人	
a	Gmail講座（ITリーダー企画講座①） 5月25日(日)10時～12時30分 23人 受講登録24人 ラベルを作成、編集、整理するなどGmailの便利な機能を学んだ。
b	七宝でつくるアクセサリー1（ものづくり講座Ⅰ） 6月7日(土)、同14日(土)10時～12時 全2回 延べ21人 受講登録12人 古川栄子氏を講師に迎え、七宝焼きの基本技法を学び、ブローチやペンダントなどのオリジナルアクセサリーを製作した。
c	四季を生ける（華道講座） 6月21日(土)～3月21日(土)14時～16時 全4回 延べ58人 受講登録16人 草月流の講師を迎え、四季折々の生け花の基本を学んだ。
d	GIMP講座（ITリーダー企画講座②） 6月29日(日)10時～12時30分 19人 受講登録23人 キャンパスに筆で絵を描くような感覚で画像を作成・加工できるGIMPについて学んだ。
e	自分だけの器をつくる（陶芸講座Ⅰ） 7月21日(月)祝～8月25日(月)18時30分～20時30分 全4回 延べ78人 受講登録20人 秤屋苑子氏（陶芸家）を講師に迎え、創作する喜びを深めながら陶芸の基本技術を学び、自分だけの器を製作した。
f	エクセル応用講座1（ITリーダー企画講座③） 7月27日(日)10時～12時30分 18人 受講登録24人 Excel中級者を対象に、スピルやXLOOKUP関数を学んだ。
g	楽しく！美BODY（健康体力づくり講座Ⅰ） 8月22日(金)～9月19日(金)19時30分～21時30分 全5回 延べ46人 受講登録15人 吉田美保氏を講師に迎え、ストレッチ・ヨガ・ピラティス等を楽しみながら体験し、美しい姿勢・身体づくりを学んだ。
h	七宝でつくるアクセサリー2（ものづくり講座Ⅱ） 8月24日(日)、9月7日(日)10時～12時 全2回 延べ23人 受講登録12人 古川栄子氏を講師に迎え、七宝焼きの基本技法を学び、ブローチやペンダントなどのオリジナルアクセサリーを製作した。
i	親子でアイロンプリントバッグを作ろう（ITリーダー企画講座④） 8月31日(日)10時～12時30分 8組22人 受講登録10組28人 親子でパソコンを使い、アイロンプリントでオリジナルのトートバッグを作った。
j	茶道への誘い（茶道講座） 9月25日(木)～11月13日(木)18時30分～20時30分 全8回 延べ73人 受講登録11人 鈴木宗恵氏（一般社団法人裏千家淡交会いわき支部）を講師に迎え、お点前の技術、茶道具の扱い方、所作を学び、おもてなしの心に触れながらお茶を点てることを楽しんだ。
k	パワーポイント講座（ITリーダー企画講座⑤） 9月28日(日)10時～12時30分 21人 受講登録22人 プレゼンテーションソフトPowerPointを用いて、文字入力、図形や画像の挿入、グラフの入力等様々な使い方を学んだ。
l	太極拳で健康になろう（健康体力づくり講座Ⅱ） 10月5日(日)～11月30日(日)10時～12時 全5回 延べ61人 受講登録15人 吉田みやこ氏、新妻保江氏（太極拳指導者）を講師に迎え、姿勢や動きに注意しながら太極拳を行い、心身ともに整えた。
m	大人の陶芸（陶芸講座Ⅱ） 10月11日(土)～同18日(土)10時～12時 全2回 延べ26人 受講登録15人 小野田利治氏（大堀相馬焼春山窯窯元）を講師に迎え、土の感触を楽しみながら陶芸の基本を学び、自分だけの器を作った。

(エ) 施設の機能等を活かした講座	
n	ワード応用講座（ITリーダー企画講座⑥） 10月26日(日)10時～12時30分 14人 受講登録16人 Wordの編集機能等、一步進んだ操作方法を学んだ。
o	編み物講座（ものづくり講座Ⅲ） 11月29日(土)～12月13日(土)13時30分～15時30分 全3回 延べ28人 受講登録19人 さぎりえ氏（編み物クリエイター）を講師に迎え、経験者を対象にダブルフックアフガン針を用いた編み方を学んだ。
p	PDF講座（ITリーダー企画講座⑦） 11月30日(日)10時～12時30分 22人 受講登録24人 作成した文書ファイルが同じレイアウトで表示・印刷ができるPDFについて学んだ。
q	ラベル作成講座（ITリーダー企画講座⑧） 12月21日(日)10時～12時30分 11組26人 受講登録13組33人 「ラベル屋さん」を使って名前シールやカレンダーを制作した。
r	太極拳で健康になろう（健康体力づくり講座Ⅱ 追加分） 1月18日(日)～2月22日(日)10時～12時 全5回 延べ57人 受講登録16人 吉田みやこ氏、新妻保江氏（太極拳指導者）を講師に迎え、姿勢や動きに注意しながら太極拳を行い、心身ともに整えた。 10月開講講座の申込者が定員超過となったため、講師と協議の上、追加講座を開催した。
s	七宝でつくるアクセサリー3（ものづくり講座Ⅳ） 1月24日(土)、同31日(土)10時～12時 全2回 延べ19人 受講登録12人 古川栄子氏を講師に迎え、七宝焼きの基本技法を学び、ブローチやペンダントなどのオリジナルアクセサリーを制作した。
t	エクセル応用講座2（ITリーダー企画講座⑨） 1月25日(日)10時～12時30分 21人 受講登録24人 データ集計に便利な「ピボットテーブル」について学んだ。
u	生成AI講座（ITリーダー企画講座⑩） 2月22日(日)10時～12時30分 22人 受講登録24人 入力された指示に基づいて文章や画像、音楽などのコンテンツを生成するAIを学んだ。
v	グーグル便利技講座（ITリーダー企画講座⑪） 3月29日(日)10時～12時30分 22人 受講登録24人 グーグルのログイン方法から便利なサービスの紹介とGeminiの活用方法を学んだ。
(オ) 交流に関する講座 18講座 33回 延べ426人	
a	プラザおはなし会 4月11日(金)～3月13日(金)11時～11時30分 全11回 計38組77人 毎月第2金曜日に「遊びと憩いの広場」で、子育てサポーター★てんしのほほえみ★による紙芝居と絵本の読み聞かせ、パネルシアターや簡単な手遊び・歌を親子で楽しんだ。2月は講師都合により中止。
b	おやこふれあいあそびうた!!（子育てボランティア活用講座Ⅱ①） 5月24日(土)10時30分～12時 11組28人 受講登録14組34人 歌や音楽にあわせるリトミックで身体を動かして遊んだ。
c	ベビーヨガ（親子ふれあい講座Ⅰ） 6月9日(月)、同23日(月)10時～11時 全2回 延べ17組34人 受講登録9組19人 佐藤美佳氏（ヨガ指導者）を講師に迎え、赤ちゃんと一緒にヨガを実践した。
d	ベビーヨガ（親子ふれあい講座Ⅰ 追加分） 6月9日(月)、同23日(月)11時30分～12時30分 全2回 延べ13組26人 受講登録9組18人 佐藤美佳氏（ヨガ指導者）を講師に迎え、赤ちゃんと一緒にヨガを実践した。 定員超過の申込となったため、講師と協議の上、同日の時間を増やして全員を受け入れた。
e	親子でつくる自分だけの器A・B（親子陶芸講座） 7月5日(土) A 10時～12時 8組22人 受講登録8組22人 B 14時～16時 8組19人 受講登録8組19人 小野田利治氏（大堀相馬焼春山窯窯元）を講師に迎え、親子で楽しく陶芸を体験し、世界でひとつだけの器を制作した。
f	ジャンボ・ヨーヨーつり!!（子育てボランティア活用講座Ⅱ②） 7月26日(土)10時30分～12時 7組22人 受講登録9組23人 牛乳パックで大きなヨーヨーを作って水遊びを楽しんだ。

(オ) 交流に関する講座	
g	木工体験教室（親子ものづくり講座Ⅰ） 8月2日(土)10時～12時 10組25人 受講登録10組25人 荒川敦郎氏（荒川材木店）を講師に迎え、親子で椅子を製作した。
h	カラフルな石鹸づくり（親子ものづくり講座Ⅱ） 8月23日(土)10時～12時 9組25人 受講登録11組28人 若松美保氏を講師に迎え、各自の好きな色、形の石鹸を作った。
i	おばけのモビールづくり！（子育てボランティア活用講座Ⅱ③） 9月27日(土)10時30分～12時 2組5人 受講登録2組5人 思い思いに絵を描いてゆらゆら揺れるモビールを作って楽しんだ。
j	あわてんぼうのクリスマス（子育てボランティア活用講座Ⅱ④） 11月22日(土)10時30分～12時 3組8人 受講登録5組13人 親子でクリスマスの軽快な曲にあわせて手拍子やミュージックベルで楽しんだ。
k	親子で健康体操（親子ふれあい講座Ⅱ） 12月7日(日)～同14日(日)10時～12時 全2回 延べ10組21人 受講登録7組15人 永久保佳奈絵氏を講師に迎え、親子でボールやリングを使いながら姿勢を整える運動を学んだ。
l	親子でつくるビーズアクセサリ（親子ものづくり講座Ⅲ） 12月13日(土)10時～12時 10組22人 受講登録10組22人 藁谷陽子氏を講師に迎え、カラフルなビーズを用いて星型のビーズアクセサリを制作した。
m	クリスマスリースづくり（親子ものづくり講座Ⅳ）（連携 いわき海浜自然の家） 12月20日(土)10時～12時 10組23人 受講登録10組23人 いわき海浜自然の家職員が講師を務め、親子で協力し、本格的なクリスマスリースを制作した。
n	はねつきあそび！（子育てボランティア活用講座Ⅱ⑤） 1月24日(土)10時30分～12時 1組3人 受講登録4組12人 新聞紙、折り紙などを使って羽子板、羽根を作り羽根突きをして楽しんだ。
o	ベビーヨガ2（親子ふれあい講座Ⅱ） 3月9日(月)、同23日(月)10時～11時 全2回 延べ14組28人 受講登録8組16人 佐藤美佳氏（ヨガ指導者）を講師に迎え、赤ちゃんと一緒にヨガを実践した。
p	ベビーヨガ2（親子ふれあい講座Ⅱ 追加分） 3月9日(月)、同23日(月)11時30分～12時30分 全2回 延べ14組29人 受講登録8組16人 佐藤美佳氏（ヨガ指導者）を講師に迎え、赤ちゃんと一緒にヨガを実践した。 定員超過の申込となったため、講師と協議の上、同日の時間を増やして全員を受け入れた
q	てがたアートあそび！（子育てボランティア活用講座Ⅱ⑥） 3月28日(土)10時30分～12時 3組9人 受講登録4組10人 カラフルな色を使い、手形でおもしろおもしろに動物や花を模す手形アートをして楽しんだ。
(カ) サークル企画講座 6講座 36回 延べ377人	
a	楽しい朗読1（サークル企画講座①） 5月9日(金)～7月25日(金)13時30分～15時 全6回 延べ81人 受講登録15人 いわき絵本と朗読の会の指導を受け、宮沢賢治「よだかの星」などの文学作品の魅力を学びながら朗読方法を習得した。
b	朗読教室1（サークル企画講座②） 5月11日(日)～7月27日(日)13時30分～15時 全6回 延べ60人 受講登録11人 いわき絵本と朗読の会の指導を受け、宮沢賢治「よだかの星」などの文学作品の魅力を学びながら朗読方法を習得した。日曜日開催の要望が多く、講師と相談のうえ日程を変更して開催した。
c	楽しい朗読2（サークル企画講座③） 9月12日(金)～11月28日(金)13時30分～15時 全6回 延べ63人 受講登録12人 いわき絵本と朗読の会の指導を受け、井上靖の長編小説「氷壁」などの文学作品の魅力を学びながら朗読方法を習得した。
d	朗読教室2（サークル企画講座④） 9月14日(日)～11月23日(日)13時30分～15時 全6回 延べ39人 受講登録11人 いわき絵本と朗読の会の指導を受け、井上靖の長編小説「氷壁」などの文学作品の魅力を学びながら朗読方法を習得した。
e	楽しい朗読3（サークル企画講座⑤） 1月9日(金)～3月27日(金)13時30分～15時 全6回 延べ80人 受講登録16人 いわき絵本と朗読の会の指導を受け、森瑤子のエッセイ「美女たちの神話」を味わい、朗読のコツを身につけた。

(カ) サークル企画講座
f 朗読教室3 (サークル企画講座⑥) 1月11日(日)～3月22日(日)13時30分～15時 全6回 延べ54人 受講登録12人 いわき絵本と朗読の会の指導を受け、森瑤子のエッセイ「美女たちの神話」を味わい、朗読のコツを身につけた。

カ 自主事業

(ア) 七夕飾り
7月7日(月)～8月24日(日) 計120人 5階市民ロビーに笹竹を2本設置し、来館者の願いを込めた短冊を、市民と協働で飾りつけた。
(イ) 雑誌リサイクル会
7月27日(日)13時～14時 10人 5階情報コーナーにある古い雑誌の無料リサイクル会を開催した。
(ウ) 童門冬二氏といわきヒューマンカレッジ展
9月18日(木)～10月19日(日) 5階市民ロビーに童門氏への感謝への想いと功績を偲び、直筆メッセージや寄贈書籍等を展示した。
(エ) ロビー展
3月19日(木)～同31日(火) 4階情報交換コーナーに磐城平城しろあと公園のオープンにあわせて正保平城絵図控複製を展示した。

キ 生涯学習ボランティアの会活動

生涯学習支援ボランティアの会を7回開催した。

日 時	出席委員数	議 題
第1回役員会 4月9日(水) 13時30分～14時30分	9人	令和7年度いわき市生涯学習支援ボランティアの会活動日程概要について 令和7年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)いわき学部について 令和7年度市民大学・史蹟探訪について
第2回役員会 5月14日(水) 13時30分～14時30分	8人	いわき学部開講内容(案)について 史蹟探訪(案)について いわきヒューマンカレッジ(市民大学)入学式日程について いわき市生涯学習支援ボランティアの会の皆様への支援依頼について
第3回役員会 7月9日(水) 13時30分～14時30分	8人	入学式当日のスケジュールについて 入学式等の役割分担について 学部運営の役割分担について ヒューマンカレッジ(市民大学)運営等支援依頼結果について ヒューマンカレッジ運営等支援実行委員会等について
第4回役員会 11月12日(水) 13時30分～14時30分	9人	いわきヒューマンカレッジ(市民大学)について 学部運営・支援について(総括) 修了式・講演会役割分担について 福島大学・いわき市連携講座について 第21回生涯学習フェスティバルについて
第5回役員会 2月11日(水)例 13時30分～14時30分	9人	いわきヒューマンカレッジ(市民大学)について ボランティアの会総会について 機関誌「Voluntary Association」第23号について
第6回役員会 3月10日(火) 13時30分～14時30分	5人	令和8年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)のいわき学部の内容等の検討について 令和7年度いわき市生涯学習支援ボランティアの会総会について

日 時	出席委員数	議 題
令和7年度総会・研修 3月21日(土) 13時30分～16時	26人	令和7年度活動状況について 令和8年度事業計画(案)について 初瀬玲子消費アドバイザーによる整理収納講座研修

ク 利用者懇談会

日 時	委員数	議 題
第1回利用者懇談会 9月24日(水) 14時～15時	30団体44人	令和7年度の利用状況と事業概況について いわき市生涯学習プラザへの要望等について 令和8年度サークル企画「一般体験講座」「学校体験講座」 について 「第21回生涯学習フェスティバル」について
第2回利用者懇談会 1月28日(水) 14時～15時	41団体55人	令和8年度社会教育関係団体登録について いわき市公共施設予約システム利用者登録申請について 令和8年度団体ロッカー・倉庫使用団体登録について いわき市生涯学習プラザへの要望等について 第21回生涯学習フェスティバルについて

3 管理部 門（法人会計）

(1) 組織運営

- ア 理事会は7回、評議員会は3回開催し、公正・公平で透明性のある組織運営に努めた。
- イ 円滑な組織運営を図るため、毎月1回の施設長会議または事務担当者会議を開催し、情報の共有と諸課題の解決を図った。
- ウ 給与等に関する規程の改正など、組織運営の円滑化に向けた規程の改正をした。
- エ 次年度の事業計画立案から予算積算に関して、各施設へのヒアリングを実施するなど、計画的な予算編成を行った。

(2) 労務管理と福利厚生

- ア 適材適所の原則から、4月に定期的な人事異動をすることで、組織の活性化に努めた。
- イ 定期的に安全衛生委員会を開催するとともに、委員による職場巡視を実施し、施設の安全及び衛生管理に努めた。また、職員から補助職員までを対象とした年1回の健康診断または人間ドックを実施し、個人の健康管理に努め、要精検以上の指導があった場合は、再受診を奨励した。さらに、各施設において36協定を締結し、働き方などの労働環境の整備などに努めた。

(3) 人材育成（職員研修）

- ア 研修の実施
 - (ア) ふくしま自治研修センターの基本研修「基礎力アップ研修」「応用力アップ研修」「実行力アップ研修」の各種研修に8名を派遣し、各階層に準じた研修を実施するとともに、県内各地の同年代の職員同士の交流を推奨した。
 - (イ) 当財団独自の制度である自主研修は5名が計画・実行し、図書購入補助には12名が専門書等の購入補助として申請した。
- イ 『研究紀要』の刊行
 - 職員の資質の向上と調査研究の成果を市民に還元することを目的とした『研究紀要』第23号を刊行した。内容は、考古・民俗・文学の各分野から8編の原稿を収録した。

(4) 連携事業調整

- ア 「江戸時代のいわきと磐城平城」を共通テーマとし、草野心平記念文学館・暮らしの伝承郷・勿来関文学歴史館・考古資料館・生涯学習プラザ・いわき市立いわき総合図書館の6施設が、文学・民俗学・考古学・歴史学の立場から、企画展、関連事業及び講座を実施した。実施にあたっては、資料の調査・貸借等や講師として職員を派遣するなど各施設間で連携を図った。

会期・日時	施設名(いわき市立等略)	事業名	利用者数
企画展 4月19日(土)～ 8月24日(日) 講演会 6月7日(土) 14時～15時30分	勿来関文学歴史館	企画展「磐城平藩と勿来関」 同関連講演会「磐城平城本丸御殿の発掘調査」 (講師 事務局調査係 中山雅弘)	企画展 3,381人 講演会 37人
5月17日(土)～ 8月17日(日)	暮らしの伝承郷	企画展「いわきの民話と伝承文学」	1,942人
6月8日(日)～ 8月3日(日)	生涯学習プラザ 考古資料館	講座「福島の城跡について」全5回 (考古資料館「いわきの考古学講座」)	延べ249人
6月14日(土) 10時～12時	草野心平記念文学館	文学散歩「磐城平城を歩く」 (講師 考古資料館 木幡成雄)	26人
7月5日(土)～ 9月21日(日)	草野心平記念文学館	企画展「吉村昭と磐城平城」	2,525人
7月12日(土)～ 11月16日(日)	考古資料館	企画展「発掘！磐城平城 夏の陣 大館城から 磐城平城へ」	2,556人
11月8日(土) 10時～12時	勿来関文学歴史館	いわきあるき2025 歴史を学ぶ「磐城平城町歩き」 (講師 考古資料館 木幡成雄)	12人
11月9日(日)～ 1月25日(日)	生涯学習プラザ 考古資料館	講座「磐城平城をさぐる」全5回 (考古資料館「いわきの考古学講座(後期)」)	延べ188人
10月28日(火)～ 5月24日(日)	いわき総合図書館	後期企画展「知っておきたい 磐城平城」 (資料貸出 考古資料館)	-

イ 当財団の指定管理施設間で連携し、施設の主題や特色をはじめ、地域の歴史を多角的に鑑賞、体験、学習する機会を創出した。新たな試みとして、市内公民館の利用団体を対象とした指定管理施設を巡るバスツアーを立案した。利用公民館を基準に、北部、中部、南部の3つの巡回コースを設け、利用団体の希望で見学施設を決定した。また、いわき市生涯学習プラザ主催の「第21回生涯学習フェスティバル」では、全施設が出演し、施設の特色を生かしたものづくり体験や特別講座、展示を実施した。

開催日時	施設名(いわき市立等略)	事業名等	利用者数
4月8日(土)・ 11月29日(土) 10時～12時	勿来関文学歴史館	いわきあるき2025 勿来関の文学・歴史・自然 散歩 第1回・第4回 (講師 いわき海浜自然の家 馬場口勝彦)	計17人
4月29日(火) 10時～13時	アンモナイトセンター	親子自然探訪教室「川原の石を調べよう！」 (講師 考古資料館 滝沢勇馬)	19人
7月20日(日)～ 8月17日(日) 14時～15時	草野心平記念文学館(主催) 考古資料館(連携)	夏休みの催し「まが玉づくり」 全5回	計43人
①10月17日(金) 9時～15時30分 ②11月21日(金) 9時15分～16時 ③11月26日(水) 9時15分～16時 ④11月27日(木) 9時15分～16時	いわき市教育文化事業団 (主催) 草野心平記念文学館 草野心平生家 暮らしの伝承郷 勿来関文学歴史館 考古資料館 いわき海浜自然の家	「いわきの歴史・文学再発見バスツアー」 ① 豊間公民館発着 考古資料館見学→暮らしの伝承郷見学→ いわき海浜自然の家昼食→草野心平記念文 学館見学→草野心平生家見学 ② 錦公民館発着 草野心平記念文学館見学→草野心平生家見 学→いわき海浜自然の家昼食→暮らしの伝 承郷見学→勿来関文学歴史館見学 ③ 豊間公民館発着 同前 ④ 中央台公民館発着 同前	計35人
11月15日(土)	いわき海浜自然の家(主催) アンモナイトセンター(連携)	ふれあいオータムキャンプ「化石体験発掘」	26人
12月20日(土)	生涯学習プラザ	親子ものづくり講座IV「クリスマスリースづくり」 (講師 いわき海浜自然の家 今野樹、馬目聖子)	10組23人
2月14日(土)・ 同15日(日)	生涯学習プラザ(主催) 草野心平記念文学館 暮らしの伝承郷 勿来関文学歴史館 アンモナイトセンター 考古資料館 いわき海浜自然の家	第21回生涯学習フェスティバル 「風鈴づくり、万華鏡づくり」(草野心平記念文 学館)、「割りばし鉄砲」(暮らしの伝承郷)、 「磐城平藩と勿来関」展パネル展示(勿来関文 学歴史館)、「ミニ発掘水晶ジオード」(アンモ ナイトセンター)、「まが玉づくり」(考古資料 館)、「バンダナの草木染め」(いわき海浜自然 の家)	計149人
2月14日(土) 10時～12時	生涯学習プラザ	特別講座「磐城平城をめぐる街中ウォーキング」 (講師 考古資料館 木幡成雄)	42人

ウ 当財団の専門性を活かした「出前講座」及び「出前展示」は、公民館、小学校、中学校、学童保育などの団体から計45回の依頼があり、1,475人の受講があった。

月 日	団体名	講座内容	講師(所属)	受講者数
5月15日(木)	いわき市立 小名浜公民館	市民講座「小名浜の文化財」① 小名浜代官所	佐藤耕太郎 (草野心平記念文学館)	33人
5月18日(日)	いわき市小川町 小川郷の会	吹揚館跡(小川町高萩地内)現地 探訪「まぼろしの城跡吹揚館を巡 るおがわ新緑のスローハイキン グ」	中山雅弘(事務局調査係)	30人
5月22日(木)	いわき市立 小名浜公民館	市民講座「小名浜の文化財」② 小名浜の遺跡－縄文時代編－	滝沢勇馬(考古資料館)	31人
5月29日(木)	同	同講座③ 小名浜の遺跡－弥生時代と中世 城館編－	高島好一(事務局調査係)	31人

月 日	団 体 名	講座内容	講師（所属）	受講者数
6月5日(木)	いわき市立 小名浜公民館	同講座④ 小名浜の遺跡ー古代編ー	大滝駿介（考古資料館）	31人
6月12日(木)	同	同講座⑤ 小名浜の遺跡ー小名浜編ー	檜村友延（事務局調査係）	28人
6月18日(水)	いわき市立 錦公民館	市民講座「レディース講座②」 まが玉づくり体験	木幡成雄（考古資料館）	12人
6月28日(土)	いわき市立 夏井公民館	クラフト体験「貝の壁飾り作り」	馬目聖子・補助職員 （いわき海浜自然の家）	41人
7月12日(土)	いわき市立 錦公民館	土曜学習「はにわづくり体験」	木幡成雄（考古資料館）	37人
7月23日(水)	いわき市立 中央公民館	郷土の歴史Ⅲ「解明！磐城平城と 城下町」磐城平城発掘調査の成果	高橋忠道（考古資料館）	47人
7月24日(木)	いわき市立 小川公民館	クラフト体験「万華鏡作り」	佐藤建比古・補助職員 （いわき海浜自然の家）	11人
7月27日(日)	吉野せい賞運営 委員会	文字に描く夢講座	渡邊彩（草野心平記念文学館）・馬目紗希（勿来関文学歴史館）	16人
7月30日(水)	きんせい学童 クラブ	講座「昔話と郷土玩具」	太田勇陽 （暮らしの伝承郷）	29人
7月31日(木)	きんせい学童 クラブ	講座「恐竜時代について」	歌川史哲 （アンモナイトセンター）	27人
8月6日(水)	ときわ児童 クラブ	講座「いわきの恐竜時代」	歌川史哲 （アンモナイトセンター）	25人
8月7日(木)	児童クラブ セリオス遊学館	土器・土偶・はにわづくり体験	木幡成雄（考古資料館）	33人
8月20日(水)	なつ児児童 クラブ	講座「恐竜時代について」	歌川史哲 （アンモナイトセンター）	20人
9月27日(土)	いわき市立 山田公民館	まが玉づくり体験	木幡成雄（考古資料館）	17人
9月29日(月)	いわき市立 中央台南中学校 1年生	総合的な学習「いわきの古生物・ 恐竜時代」	歌川史哲 （アンモナイトセンター）	20人
10月4日(土)	いわき市立 鹿島公民館	講座「楽しい昔遊び」	太田勇陽 （暮らしの伝承郷）	28人
10月21日(火)	いわき市立 神谷公民館	市民講座「神谷セミナー」 伝統文化 遠野和紙	渡邊千香 （勿来関文学歴史館）	23人
10月26日(日)	秋まつりinおが わ2025実行委員 会	〔出前展示〕秋まつりinおがわ 2025（会場 小川公民館） 「草野心平の書画展」移動展示	草野心平記念文学館	-
11月4日(火)	いわき市立 藤原小学校 6年生	「藤原校一日入学」拓本体験	木幡成雄（考古資料館）	26人
11月8日(土)	いわき市立 平窪公民館	「平窪こども自遊学校」まが玉づ くり体験	高橋忠道（考古資料館）	8人
11月9日(日)	じょーもびあ宮 畑	「縄文の日 秋の陣」土偶づくり 体験	木幡成雄・補助職員 （考古資料館）	40人
11月13日(木)	いわき市立 高久小学校 6年生	地蔵院前遺跡、神谷作101号墳の 現地解説	木幡成雄（考古資料館）	16人
11月15日(土)	泉駅前子供会	昔遊び体験	太田勇陽 （暮らしの伝承郷）	66人
11月28日(金)	いわき市立 小川小学校 4年生	講座「小川江筋と昔の道具」	山田りぼん （暮らしの伝承郷）	22人
11月29日(土)	広野町公民館	広野町ふるさと創生大学 「詩人・草野心平の料理」	渡邊 彩 （草野心平記念文学館）	14人

月 日	団 体 名	講座内容	講師（所属）	受講者数
12月4日(木)	いわき市立 泉小学校6年生	総合的な学習「泉の歴史について まとめよう」	中山雅弘（事務局調査係）	63人
12月6日(土)	青少年育成市民 会議四倉地区推 進協議会	親子でまが玉づくり体験 （会場 いわき市立四倉公民館）	木幡成雄（考古資料館）	26人
12月13日(土)	いわき市立 植田公民館	土曜学習「貝の絵ろうそく作り」	佐藤建比古・補助職員 （いわき海浜自然の家）	14人
	青少年育成市民 会議平支部	親子ふれあい事業「土偶、はにわ を作ろう！」 （会場 いわき市文化センター）	木幡成雄（考古資料館）	44人
12月18日(木)	いわき市立 中央台北小学校 1年生	体験学習「お正月遊び」	太田勇陽 （暮らしの伝承郷）	31人
12月20日(土)	いわき市立 藤原公民館	講座「いわきの恐竜時代」	歌川史哲 （アンモナイトセンター）	31人
1月15日(木)	いわき市立 中央公民館	郷土の歴史Ⅳ 大人のための『太 古のいわき』『フタバスズキリ ウが生きたいわき』	歌川史哲 （アンモナイトセンター）	32人
1月22日(木)	いわき市立 中央公民館	同講座「地質時代の森の恵み」	歌川史哲 （アンモナイトセンター）	29人
	いわき市立 平第一小学校 1年生	むかしからつたわるあそびをた のしもう	太田勇陽 （暮らしの伝承郷）	68人
1月29日(木)	いわき市立 好間第一小学校 2年生	講座「昔遊びと石臼体験」	山田りぼん・太田勇陽 （暮らしの伝承郷）	46人
1月30日(金)	いわき市立 湯本第一小学校 1年生	昔遊び体験	山田りぼん （暮らしの伝承郷）	44人
2月18日(水)	いわき市立 小名浜第二小学校 1年生	昔遊び体験	山田りぼん （暮らしの伝承郷）	58人
2月20日(金)	いわき市立 植田小学校 6年生	親子でまが玉づくり体験	木幡成雄・高橋忠道・補 助職員（考古資料館）	148人
2月21日(土)	就労準備型放課 後等デイサービ ス「i-stepジュ ニアグッドjob」	土器・土偶・はにわづくり体験	木幡成雄（考古資料館）	11人
	いわき市立 夏井公民館	藤間っ子土曜学習 「まが玉づくり体験」	渡邊芳一（考古資料館）	39人
2月28日(土)	いわき市立 錦公民館	クラフト体験	馬目聖子・補助職員 （いわき海浜自然の家）	29人

エ 当財団ホームページに各施設の年間の事業案内を掲載したほか、SNSを活用し、各施設で開催する事業の告知、案内を速やかに行った。

市内小・中学校の長期休暇前には、当財団指定管理施設の催事をまとめた「夏のイベント情報」「冬のイベント情報」チラシを作成し、市内小学校、幼稚園、保育所及び関係施設等へ配付した。

また、FMいわき放送「週末みみより情報」では、毎週、各施設の担当者が輪番で出演し、事業案内や施設の話題などを話したほか、いわき民報では、毎週、各施設の担当者が輪番で、施設紹介や事業案内、文化財に関する記事を執筆した。

さらに、当財団の令和6年度の事業運営内容を記録した『令和6年度 年報』を刊行した。

Ⅲ 評議員会・理事会に関する事項

1 評議員会

- (1) **定時評議員会** 6月26日提出、同日議決 会場 いわき市生涯学習プラザ4階大会議室
議案 第1号 令和6年度決算の承認について
第2号 理事の選任について
- (2) **臨時評議員会（書面決議）**
ア 4月14日提出、同日議決 議案 第1号 評議員の選任について
イ 3月26日提出、同日議決 議案 第1号 理事の選任について

2 理事会

- (1) **第1回理事会（書面決議）** 4月11日提出、同日議決
議案 第1号 令和7年度臨時評議員会の招集について
- (2) **第2回理事会** 5月26日提出、同日議決 会場 いわき市生涯学習プラザ4階大会議室
議案 第1号 令和6年度決算の承認について
第2号 令和7年度定時評議員会の招集について
報告 第1号 令和7年度経過報告（4月）
- (3) **第3回理事会（書面決議）** 6月26日提出、同日議決
議案 第1号 理事長の選定について
- (4) **第4回理事会** 12月24日提出、同日議決 会場 いわき市生涯学習プラザ4階中会議室
議案 第1号 給与等に関する規程及び定年退職者の再雇用に関する規程の改正について
第2号 令和7年度事業変更計画について
第3号 令和7年度収支補正予算（第1号）について
報告 第1号 令和7年度経過報告（5月～11月）
- (5) **第5回理事会（書面決議）** 2月13日提出、同日議決
議案 第1号 役員賠償責任保険契約について
- (6) **第6回理事会** 3月23日提出、同日議決 会場 いわき市生涯学習プラザ4階大会議室
議案 第1号 令和8年度事業計画及び収支予算について
第2号 令和7年度臨時評議員会の招集について
報告 第1号 令和7年度経過報告（12月～2月）
- (7) **第7回理事会（書面決議）** 3月27日提出、同日議決
議案 第1号 理事長及び副理事長の選定について

3 監査

- (1) **事前監査** 5月14日 会場 いわき市考古資料館講義室 内容 令和6年度決算審査の事前監査
- (2) **第47回監事会** 5月20日 会場 いわき市役所財政部長室 内容 令和6年度決算審査

4 役員等に関する事項 評議員7名、理事9名、監事3名（令和8年3月31日現在）

- 就任** 4月14日 評議員 深谷 健司（いわき市観光文化スポーツ部長）
3月26日 理事 佐竹 望（いわき市総務部長）
- 辞任** 3月31日 理事長 安藤 靖雄（いわき市副市長）
副理事長 服部 樹理（いわき市教育委員会教育長）

IV 職員に関する事項

令和8年3月31日現在

1 事務局

括弧内数字：兼務職員数 単位：名

区分	事務局長 同相当職	次長 同相当職	係長 同相当職	主任職	係員	嘱託職員	補助職員	計
事務局	1	1	—	—	—	—	—	2
企画管理係	—	1	2	—	—	—	1	4
調査係	—	—	2 (1)	3	—	3	10	18 (1)
計	1	2	4 (1)	3	—	3	11	24 (1)

2 施設

区分	館長 所長	次長 同相当職	係長 同相当職	主任職	係員	嘱託職員	補助職員	計
文学館	1	1	1	2	—	—	4	9
伝承郷	1	—	1	2	—	—	3	7
勿来関 文学歴史館	1	—	—	1	—	1	2	5
アンモナイト センター	1	—	—	1	—	—	4	6
考古資料館	(1)	—	1 (3)	(3)	—	—	1	2 (7)
いわき海浜 自然の家	1	1	3	2	—	4	7	18
生涯学習 プラザ	1	1	2	1	—	—	7	12
計	6 (1)	3	8 (3)	9 (3)	—	5	28	59 (7)

合計	7 (1)	5	12 (4)	12 (3)	—	8	39	83 (8)
----	----------	---	-----------	-----------	---	---	----	-----------

前年度 合計	7 (1)	5	12 (4)	10 (2)	2 (1)	9	42	87 (8)
-----------	----------	---	-----------	-----------	----------	---	----	-----------

決 算 報 告 書

目 次

	ページ
1 貸借対照表	53
2 正味財産増減計算書	54
3 財務諸表に対する注記	57
4 財産目録	59

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	256,316,526	348,920,172	△92,603,646
未収金	17,896,256	20,536,957	△2,640,701
前払金	5,610	5,610	0
立替金	9,535	8,198	1,337
仮払金	0	136,535	△136,535
未経過通信運搬費	13,688	20,667	△6,979
未経過租税公課	5,400	5,000	400
流動資産合計	274,247,015	369,633,139	△95,386,124
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) その他固定資産			
器具・備品	13	13	0
リース資産	43,291,862	2,481,806	40,810,056
電話加入権	9,000	9,000	0
投資有価証券	9,016,000	9,466,000	△450,000
その他固定資産合計	52,316,875	11,956,819	40,360,056
固定資産合計	62,316,875	21,956,819	40,360,056
資産合計	336,563,890	391,589,958	△55,026,068
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	67,336,200	147,701,741	△80,365,541
未払消費税	2,653,900	7,779,300	△5,125,400
前受金	0	0	0
預り金	1,081,587	1,352,981	△271,394
仮受金	4,618	0	4,618
賞与引当金	14,531,955	14,509,623	22,332
短期リース債務	10,635,828	543,061	10,092,767
流動負債合計	96,244,088	171,886,706	△75,642,618
2 固定負債			
長期リース債務	33,268,825	2,006,805	31,262,020
固定負債合計	33,268,825	2,006,805	31,262,020
負債合計	129,512,913	173,893,511	△44,380,598
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
受取出捐金	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	197,050,977	207,696,447	△10,645,470
正味財産合計	207,050,977	217,696,447	△10,645,470
負債及び正味財産合計	336,563,890	391,589,958	△55,026,068

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益 (A)	12,500	200	12,300
基本財産受取利息	12,500	200	12,300
② 事業収益 (B)	626,889,477	754,734,367	△127,844,890
文化財調査受託料	112,717,000	250,732,900	△138,015,900
施設指定管理料	500,424,821	491,993,005	8,431,816
1 市立草野心平記念文学館	77,170,000	76,858,000	312,000
2 市草野心平生家	3,259,000	3,259,000	0
3 市暮らしの伝承郷	53,761,000	53,761,000	0
4 市勿来関文学歴史館	41,137,000	39,793,005	1,343,995
5 市アンモナイトセンター	30,209,000	29,975,000	234,000
6 市考古資料館	22,162,000	22,026,000	136,000
7 県いわき海浜自然の家(県)	169,409,821	167,132,000	2,277,821
8 市生涯学習プラザ	103,317,000	99,189,000	4,128,000
施設事業受託料	10,200,716	8,886,512	1,314,204
1 吹風殿開閉業務	387,200	363,000	24,200
2 勿文歴収集資料調査検証業務	476,000	0	476,000
3 未来キッズ生き生き事業	3,554,099	3,486,443	67,656
4 心のケアが必要な子ども対象事業	790,417	693,069	97,348
5 いわきヒューマンカレッジ	3,685,000	3,894,000	△209,000
6 プラザ来館者利用駐車場調査業務	1,308,000	0	1,308,000
7 文学館収集資料整理・分類業務	0	312,000	△312,000
8 考古資料館収集資料調査検証業務	0	138,000	△138,000
施設利用料	3,545,840	3,118,860	426,980
出版物頒布料	1,100	3,090	△1,990
③ 受取負担金 (C)	0	0	0
講師派遣料	0	0	0
④ 受取寄附金 (D)	0	0	0
寄附金	0	0	0
⑤ 雑収益 (E)	3,921,042	3,324,376	596,666
受取利息	129,942	113,179	16,763
雑収益	3,791,100	3,211,197	579,903
経常収益計 (A~E)=(F)	630,823,019	758,058,943	△127,235,924
(2) 経常費用			
① 事業費 (G)	599,494,056	711,956,059	△112,462,003

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
給料手当	114,662,593	126,307,057	△11,644,464
賃金	163,592,526	154,995,570	8,596,956
賞与引当金繰入額	12,220,380	12,357,481	△137,101
共済費	51,361,261	49,484,418	1,876,843
報償費	4,699,929	4,698,415	1,514
旅費	2,367,189	2,566,290	△199,101
消耗品費	17,179,064	14,480,301	2,698,763
被服費	398,332	567,451	△169,119
燃料費	9,652,393	7,947,863	1,704,530
食糧費	367,290	415,120	△47,830
印刷製本費	11,981,891	18,872,256	△6,890,365
光熱水費	33,469,697	34,751,304	△1,281,607
修繕費	8,243,292	10,364,877	△2,121,585
医薬材料費	0	0	0
通信運搬費	5,203,031	5,254,532	△51,501
広告料	340,809	352,059	△11,250
手数料	1,405,579	1,334,022	71,557
保険料	1,322,607	1,137,230	185,377
委託料	91,041,768	169,000,953	△77,959,185
使用料及び賃借料	27,041,859	46,383,442	△19,341,583
工事請負費	1,489,180	1,790,605	△301,425
原材料費	77,669	184,538	△106,869
負担金	349,756	420,174	△70,418
公租公課	28,085,803	35,665,187	△7,579,384
消耗什器備品費	735,867	608,080	127,787
減価償却費	10,904,904	11,748,912	△844,008
支払利息	1,299,387	267,922	1,031,465
② 管理費 (H)	41,524,433	38,475,876	3,048,557
報酬	265,600	240,700	24,900
給料手当	19,453,440	16,914,694	2,538,746
賃金	4,059,135	4,567,241	△508,106
賞与引当金繰入額	2,311,575	2,152,142	159,433
共済費	5,566,355	5,030,958	535,397
報償費	144,000	135,412	8,588
旅費	77,669	279,919	△202,250
交際費	10,000	39,800	△29,800
消耗品費	257,405	284,482	△27,077
被服費	0	15,000	△15,000
燃料費	66,219	57,653	8,566

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
食糧費	10,400	10,340	60
印刷製本費	2,181,300	2,410,100	△228,800
光熱水費	139,971	141,719	△1,748
修繕費	0	19,800	△19,800
通信運搬費	299,958	303,929	△3,971
広告料	0	0	0
手数料	379,033	415,195	△36,162
保険料	167,980	158,970	9,010
委託料	517,166	474,796	42,370
使用料及び賃借料	1,072,611	923,889	148,722
原材料費	0	0	0
負担金	607,859	513,779	94,080
補償費	0	19,745	△19,745
公租公課	3,767,357	3,365,613	401,744
消耗什器備品費	169,400	0	169,400
経常費用計 (G+H) = (I)	641,018,489	750,431,935	△109,413,446
評価損益等調整前当期経常増減額 (F-I) = (J)	△10,195,470	7,627,008	△17,822,478
投資有価証券評価損益等	△450,000	△604,000	154,000
評価損益等計 (K)	△450,000	△604,000	154,000
当期経常増減額 (J+K) = (L)	△10,645,470	7,023,008	△17,668,478
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計 (M)	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 過年度損益修正損			
リース料修正損	0	0	0
電話加入権減損損失	0	0	0
経常外費用計 (N)	0	0	0
当期経常外増減額 (M-N) = (O)	0	0	0
当期一般正味財産増減額 (L+O) = (P)	△10,645,470	7,023,008	△17,668,478
一般正味財産期首残高 (Q)	207,696,447	200,673,439	7,023,008
一般正味財産期末残高 (P+Q) = (R)	197,050,977	207,696,447	△10,645,470
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	12,500	200	12,300
一般正味財産への振替額	△12,500	△200	△12,300
当期指定正味財産増減額 (S)	0	0	0
指定正味財産期首残高 (T)	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高 (S+T) = (U)	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高 (R+U)	207,050,977	217,696,447	△10,645,470

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

平成26年度より公益法人会計基準（平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 償却原価法（定額法）

その他有価証券（時価のあるもの） 時価法

(2) 固定資産の減価償却方法

器具・備品 定率法

リース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法

(3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

期末在職者の退職金支給に備えるため、中小企業退職共済制度に加入しており、同制度による給付額と退職金要支給額が同額であるため、退職給付引当金は計上していない。

・賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引（所有権移転外ファイナンスリース）

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

なお、重要性の乏しいリース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000円	0円	0円	10,000,000円
合 計	10,000,000円	0円	0円	10,000,000円

3 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000円	(10,000,000円)	(0円)	—
合 計	10,000,000円	(10,000,000円)	(0円)	—

4 固定資産の取得価額、減価償却及び償却額累計額及び当期末残高及び減損損失

固定資産の取得価額、減価償却及び減損損失累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却及び 減損損失累計額	当期減価償却	当期末残高
器具・備品	7,541,762円	7,541,749円	0円	13円
リース資産	55,086,460円	889,694円	10,904,904円	43,291,862円
電話加入権	449,904円	440,904円	0円	9,000円
合 計	63,078,126円	8,872,347円	10,904,904円	43,300,875円

5 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

科 目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
未収金	17,896,256円	0円	17,896,256円
合 計	17,896,256円	0円	17,896,256円

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益 基本財産受取利息	12,500円
合 計	12,500円

財 産 目 録

令和 8 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	事務局、施設 7 か所	手許保管	298,000
郵便振替	ゆうちょ銀行	運転資金	176,586
預金	普通預金		
	東邦銀行湯本支店	運転資金	206,205,240
	東邦銀行湯本支店	運転資金	0
	東邦銀行湯本支店	運転資金	8,860
	いわき信用組合湯本支店	運転資金	1,252,254
	いわき信用組合湯本支店	運転資金	8,158,348
	大東銀行湯本支店	運転資金	116,155
	福島銀行湯本支店	運転資金	100,083
	大和初社銀行お伊支店	運転資金	0
	JA福島さくら久之浜支店	運転資金	1,000
	定期預金		
	いわき信用組合湯本支店	運転準備資金	10,000,000
	大東銀行湯本支店	運転準備資金	10,000,000
	福島銀行湯本支店	運転準備資金	10,000,000
	大和初社銀行お伊支店	運転準備資金	10,000,000
未収金	いわき市、福島県等	文化財調査受託料未収等	17,896,256
前払金		AEDリース料	5,610
立替金	いわき市、年金事務所等	藤原収蔵庫電気料	9,535
仮払金	年金事務所	社会保険料	0
未経過通信運搬費	切手	在庫	13,688
未経過租税公課	印紙	在庫	5,400
流動資産合計			274,247,015
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	東邦銀行湯本支店	市出捐金	10,000,000
その他固定資産			
器具・備品	カメラ等	公 1 事業目的保有財産	13
リース資産	パソコンインフォメーション機器	公 2 事業目的保有財産	43,291,862
電話加入権		公 1・法人会計事業目的保有財産	9,000
投資有価証券	第 1 回グリーン共同市場公募地方債	法人運営の運用資産	9,016,000
固定資産合計			62,316,875
資産合計			336,563,890
(流動負債)			
未払金	人件費	補助職員 3 月分賃金等	11,053,547
	物件費	業者に対する未払額	56,282,653
未払消費税	いわき税務署	7 年度消費税	2,653,900
預り金	所得税、市県民税、社会保険料等		1,081,587
仮受金	自動販売機電気料		4,618
賞与引当金	職員		14,531,955
短期リース債務			10,635,828
流動負債合計			96,244,088
(固定負債)			
長期リース債務			33,268,825
固定負債合計			33,268,825
負債合計			129,512,913
正味財産			207,050,977